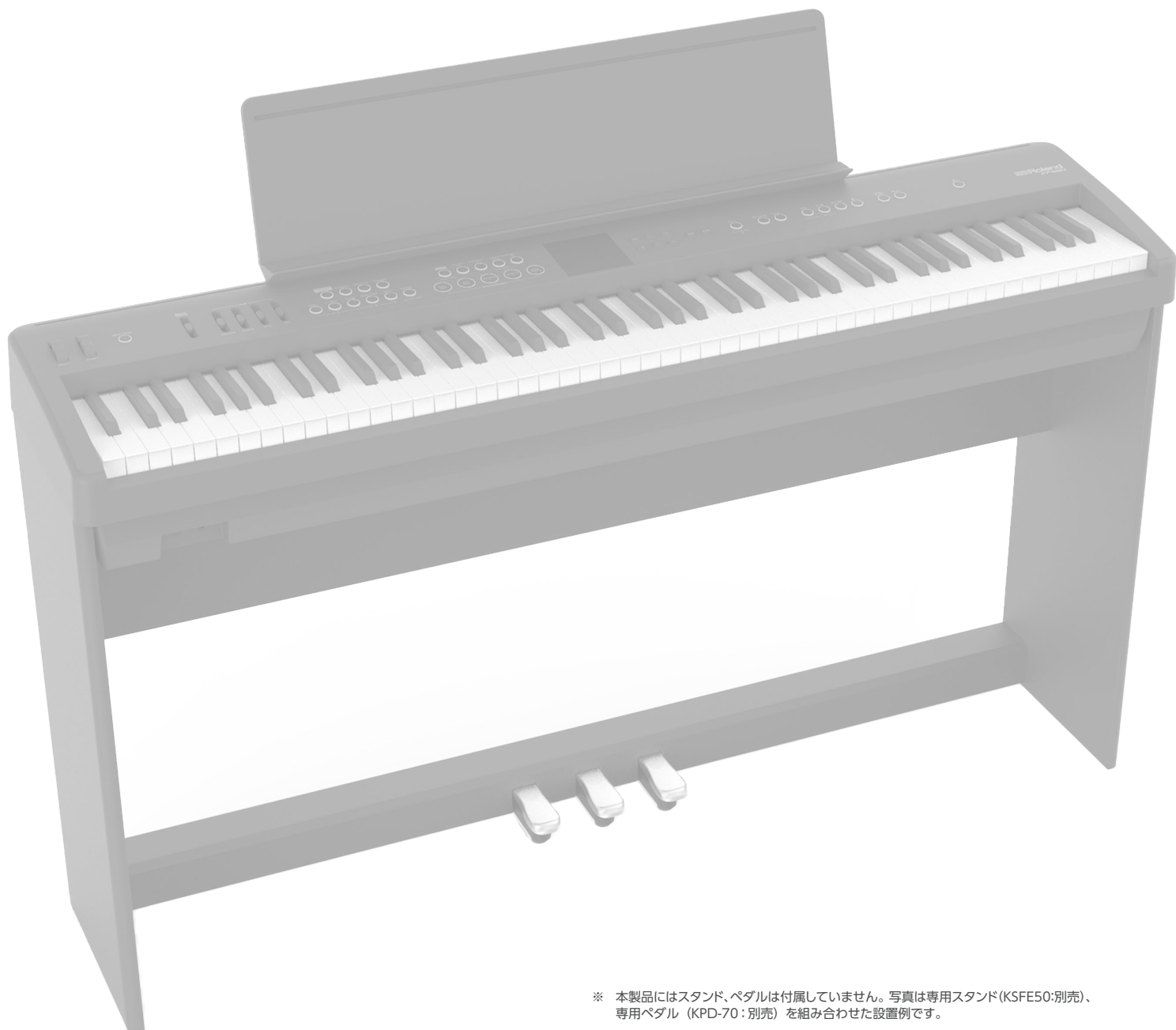


# FP-E50

リファレンス・マニュアル



※ 本製品にはスタンド、ペダルは付属していません。写真は専用スタンド(KSFE50:別売)、専用ペダル (KPD-70 : 別売) を組み合わせた設置例です。

## アプリをダウンロード

iOS  
Android

スマートフォン/タブレット用のアプリをダウンロードして、ピアノと一緒に使しましょう。



電子楽譜を表示したり、ゲーム感覚で曲の練習をしたり、練習の記録をつけたりすることができます。

# 目次

<b>はじめに</b> . . . . .	<b>4</b>	<b>基本機能</b> . . . . .	<b>23</b>
<b>演奏の準備をする</b> . . . . .	<b>5</b>	<b>メトロノームを使う (Metronome)</b> . . . . .	<b>24</b>
スタンドに設置する . . . . .	5	メトロノームを鳴らす . . . . .	24
譜面立てを取り付ける . . . . .	6	メトロノームの設定を変える (Metronome) . . . . .	24
ペダルを接続する . . . . .	6	<b>テンポを設定する (Tempo)</b> . . . . .	<b>25</b>
付属のペダル・スイッチを接続する . . . . .	6	テンポを変える . . . . .	25
専用ペダル (KPD-70) を取り付ける . . . . .	6	シーンやスタイルを切り替えてもテンポが変わらないようにする (Tempo Lock) . . . . .	25
エクスプレッション・ペダルを接続する . . . . .	6	ボタンを押すタイミングでテンポを設定する (Tap Tempo) . . . . .	25
ヘッドホンに接続する . . . . .	7	<b>シーン (Scene)</b> . . . . .	<b>26</b>
<b>FP-E50 の基本操作</b> . . . . .	<b>8</b>	シーンを選ぶ (Scene Select) . . . . .	26
<b>各部の名称とはたらき</b> . . . . .	<b>9</b>	シーンをエディットする (Scene Edit) . . . . .	26
トップ・パネル . . . . .	9	シーンを保存する (Scene Write) . . . . .	27
リア・パネル . . . . .	10	<b>音に響きを付ける (Ambience)</b> . . . . .	<b>28</b>
<b>基本操作と画面について</b> . . . . .	<b>11</b>	アンビエンスをオン/オフする . . . . .	28
電源を入れる/切る . . . . .	11	アンビエンスを設定する (Ambience Setting) . . . . .	28
電源を入れる . . . . .	11	<b>移調して演奏する (Transpose)</b> . . . . .	<b>29</b>
電源を切る . . . . .	11	トランスポーズをオン/オフする . . . . .	29
全体の音量を調節する . . . . .	11	トランスポーズを設定する . . . . .	29
音量バランスを調節する . . . . .	11	<b>モバイル機器を Bluetooth 接続する</b> . . . . .	<b>30</b>
一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ) . . . . .	12	<b>ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす (Bluetooth 機能)</b> . . . . .	<b>31</b>
オート・オフ機能を解除する . . . . .	12	初期設定をする (ペアリング) . . . . .	31
基本操作 . . . . .	12	初期設定済みのモバイル機器を接続する . . . . .	31
トップ画面 . . . . .	13	オーディオを再生する . . . . .	31
シングル・モード . . . . .	13	Bluetooth オーディオの音量を調節する . . . . .	31
スプリット・モード . . . . .	13	複数台の FP-E50 とペアリングをするとき (Bluetooth ID) . . . . .	32
デュアル・モード . . . . .	13	<b>ピアノとアプリを一緒に使う</b> . . . . .	<b>33</b>
トーン・カテゴリー . . . . .	14	このピアノと一緒に使えるアプリ . . . . .	33
トーン・バンク . . . . .	14	設定をする (ペアリング) . . . . .	33
トーン・リストでトーン・カテゴリー表示とトーン・バンク表示を切り替える . . . . .	14	<b>自動伴奏とコード・シーケンサー</b> . . . . .	<b>34</b>
さまざまな機能にアクセスする (Menu 画面) . . . . .	15	<b>自動伴奏を使う</b> . . . . .	<b>35</b>
名前の変更をする (Rename 画面) . . . . .	15	スタイルを選ぶ . . . . .	35
<b>音色を選ぶ</b> . . . . .	<b>16</b>	[Dec] [Inc] ボタンで選ぶ . . . . .	35
<b>鍵盤モードを選ぶ</b> . . . . .	<b>17</b>	カテゴリーのリストから選ぶ . . . . .	35
鍵盤モードを切り替える . . . . .	17	バンクのリストから選ぶ . . . . .	35
1 つのパートで演奏する (シングル) . . . . .	17	自動伴奏の使いかた (Accompaniment) . . . . .	35
2 つのパートで演奏する (デュアル/スプリット) . . . . .	17	スタイルを再生/停止する ([Start/Stop] ボタン) . . . . .	35
左手と右手で違うトーンで演奏する (スプリット) . . . . .	17	スタイルを同期再生する ([Sync Start] ボタン) . . . . .	36
2 つのトーンを重ねて演奏する (デュアル) . . . . .	18	バリエーションを切り替える ([Variation 1] [Variation 2] ボタン) . . . . .	36
<b>トーンを選ぶ (Tone Select)</b> . . . . .	<b>19</b>	イントロを付ける ([Intro/Ending] ボタン) . . . . .	36
トーン・ボタンで選ぶ . . . . .	19	エンディングを付ける ([Intro/Ending] ボタン) . . . . .	36
[Dec] [Inc] ボタンで選ぶ . . . . .	19	自動伴奏をオン/オフする ([Accomp On] ボタン) . . . . .	36
Tone List 画面で選ぶ . . . . .	20	インタラクティブ機能をオン/オフする ([Interactive On] ボタン) . . . . .	36
Tone List 画面 (カテゴリー形式表示) . . . . .	20	コード・パターンを選ぶ (Chord Sequencer [Select] ボタン) . . . . .	36
Tone List 画面 (バンク形式表示) . . . . .	20	コード・シーケンサーをオン/オフする (Chord Sequencer [On] ボタン) . . . . .	36
<b>フェイバリット機能を使う (Favorite)</b> . . . . .	<b>21</b>	自動伴奏を設定する (Arranger Setting) . . . . .	37
フェイバリット・トーンの呼び出し . . . . .	21	インタラクティブ機能を設定する (Interactive Setting) . . . . .	38
フェイバリット・トーンの登録 (Register Favorite) . . . . .	21	再生時にスプリットの左手演奏を自動でミュートする (AUTO MUTE) . . . . .	38
<b>標準のピアノ音色を選ぶ (One Touch Piano)</b> . . . . .	<b>22</b>		

<b>コード・シーケンサーを使う</b> .....	<b>39</b>	<b>センター・キャンセル</b> .....	<b>57</b>
コード・シーケンサーをオン/オフする.....	39	<b>センター・キャンセルを使う (Center Cancel)</b> .....	58
コード・パターンを選ぶ.....	39	センター・キャンセルをオン/オフする.....	58
スタイルに合ったコードを選ぶ.....	39	スマートフォンの音楽にセンター・キャンセルを使う.....	58
ループ演奏される汎用コード・パターンを選ぶ.....	39	ボーカルを消した音楽に鍵盤演奏を重ねて楽しむ.....	58
ユーザーが保存したコード・パターンを選ぶ.....	39	カラオケを楽しむ.....	58
コード・パターンを再生する.....	39	<b>さまざまな機能 (Menu)</b> .....	<b>59</b>
コード・パターンを同期再生する.....	39	<b>入力したオーディオの音量を調節する (Input Volume)</b> .....	<b>60</b>
コード・パターンの内容を確認する (Chord Pattern View 画面).....	40	<b>自分だけのピアノ音色を作る (Piano Designer)</b> .....	<b>61</b>
任意の小節からコード・パターンを再生する.....	40	ピアノ・デザイナーとは.....	61
コード・パターンをエディットする (Edit Menu).....	40	ピアノ音色を作る.....	61
コード・パターンを保存する (Chord Pattern Write).....	40	<b>シーンを編集する (Scene Edit)</b> .....	<b>62</b>
コードの設定をする (Chord Edit).....	41	全体を設定する (Scene (Common)).....	62
バリエーションの設定をする (Variation Edit).....	42	調律法を変える (Scale Tuning).....	63
Intro、Ending、Loop に関する設定をする (Intro/Ending/Loop).....	42	ホイールに機能を割り当てる (Wheel Setting).....	64
小節に関する設定をする (Measure).....	42	ペダルに機能を割り当てる (Pedal Setting).....	65
編集を取り消す (Undo/Redo).....	43	MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI Setting).....	66
パターンのトランスポーズを設定する (Transpose).....	44	<b>システム設定をする (System)</b> .....	<b>67</b>
パターンの初期化をする (Initialize Pattern).....	44	全体を設定する (General).....	67
<b>マイクを使う</b> .....	<b>45</b>	音の鳴りかたに関する設定をする (Sound).....	68
<b>マイク・エフェクトを使う</b> .....	<b>46</b>	音質を調節する (Equalizer).....	68
マイク・エフェクトをオン/オフする (Mic FX).....	46	システム設定を保存する (System Write).....	69
マイク・エフェクトを設定する (Mic Setting).....	46	<b>便利な機能 (Utility)</b> .....	<b>70</b>
共通パラメーター.....	46	工場出荷時の設定に戻す (Factory Reset).....	70
Harmony (ハーモニー).....	46	本体の設定を USB メモリーにバックアップする (Backup).....	71
Voice Transformer (ボイス・トランスフォーマー).....	47	バックアップ・ファイルを本体に読み込む (Restore).....	71
Vocal Designer (ボーカル・デザイナー).....	47	インポート/エクスポートする (Import/Export).....	72
<b>ソングを再生/録音する</b> .....	<b>48</b>	シーンをインポートする (Import Scene).....	72
<b>ソングを再生する (Song Player)</b> .....	<b>49</b>	シーンをエクスポートする (Export Scene).....	73
内蔵曲を再生する.....	49	ピアノ・セッティングをインポートする (Import Piano Setup).....	74
内蔵曲に対応したシーンに切り替える.....	49	ピアノ・セッティングをエクスポートする (Export Piano Setup).....	74
録音した曲を再生する.....	49	コード・パターンをインポートする (Import Chord Pattern).....	75
ソングを削除する.....	49	コード・パターンをエクスポートする (Export Chord Pattern).....	76
ソングの再生位置を変更する.....	50	USB メモリーを初期化する (Format USB Memory).....	76
ソングのループ設定を変更する.....	50	<b>プログラムのバージョン情報を表示する (Information)</b> .....	<b>77</b>
<b>演奏を録音する (Audio Rec)</b> .....	<b>51</b>	<b>その他</b> .....	<b>78</b>
録音の準備をする.....	51	<b>ショートカット一覧</b> .....	<b>79</b>
録音する.....	51	<b>主な仕様</b> .....	<b>80</b>
録音した演奏を聴く.....	51	<b>内蔵曲の楽譜</b> .....	<b>81</b>
録音した演奏を消す.....	52		
センター・キャンセルした音源を録音する.....	52		
<b>便利な機能 (Song Utility)</b> .....	<b>53</b>		
ソング名を変更する (Song Rename).....	53		
録音したソングを USB メモリーにコピーする (Song Copy).....	54		
複数のソングを選んで削除する (Song Delete).....	54		
録音したすべてのソングを削除する (Song Delete All).....	55		
<b>デモ・モード</b> .....	<b>56</b>		

# はじめに

---

<b>演奏の準備をする</b> .....	<b>5</b>
スタンドに設置する .....	5
譜面立てを取り付ける .....	6
ペダルを接続する .....	6
ヘッドホンを接続する .....	7

# 演奏の準備をする

## スタンドに設置する

スタンドを設置するときは、指などははさまないように、十分にご注意ください。

FP-E50 をスタンドに設置するときは、当社製のスタンド KSFE50、KS-10Z、KS-12、KS-20X をご使用ください。

ご使用になるときは以下のように設置します。

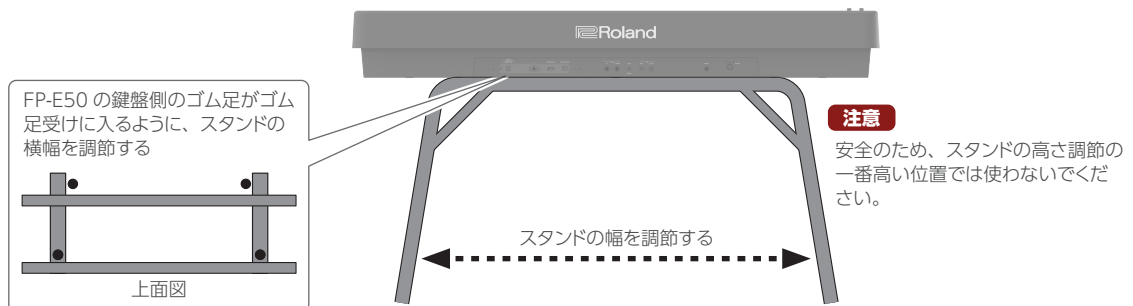
### KSFE50

KSFE50 の取扱説明書をご覧ください。

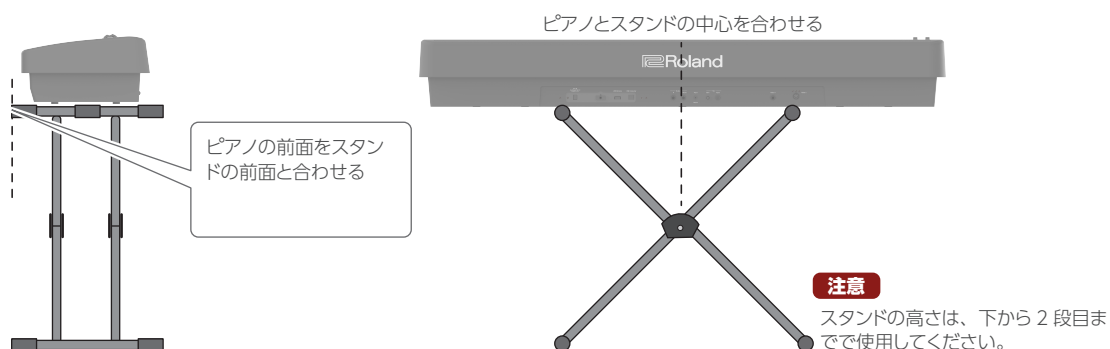
### KS-10Z



### KS-12



### KS-20X



## 譜面立てを取り付ける

1. FP-E50 上面のスリットに、譜面立てを差し込みます。



### 注意

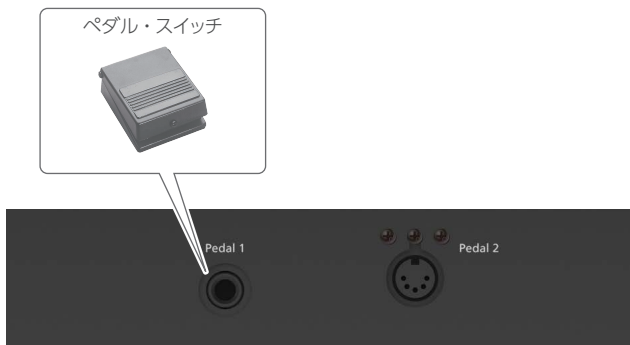
- FP-E50 を移動するときは、安全のため、必ず譜面立てを取りはずしてください。
- 譜面立てに強い力を加えないでください。
- 譜面立てには、ノート・パソコンや重いものを置かないでください。

## ペダルを接続する

### 付属のペダル・スイッチを接続する

ダンパー・ペダルとして使えます。

1. リア・パネルの Pedal1 端子に、付属のペダル・スイッチ (DP-2) を接続します。



### メモ

ハーフ・ダンパー対応の DP-10 (別売) を取り付けることができます。

## 専用ペダル (KPD-70) を取り付ける

専用スタンド (別売:KSFE50) をお使いのときは、専用ペダル (別売:KPD-70) を取り付けることができます。

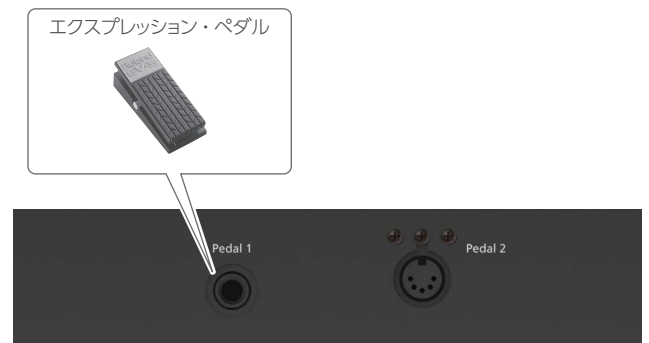
詳しくは、『KPD-70 Owner's Manual (ペダル・ボードの取り付けかた)』をご覧ください。



## エクスプレッション・ペダルを接続する

演奏に抑揚を付けることができるようになります。

1. リア・パネルの Pedal1 端子に、エクスプレッション・ペダル (EV-5:別売) を接続します。



※エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

## ヘッドホンを接続する

周囲に音が漏れないように演奏したい場合は、ヘッドホンを使います。FP-E50には2個のヘッドホン端子があるので、2人で同時にヘッドホンを使うことができます。

### 1. ヘッドホンをヘッドホン端子に接続します。

ヘッドホンを1個だけ接続するときは、2個あるヘッドホン端子のどちらに接続しても構いません。



#### 注意

ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が鳴らなくなります。

### 2. ヘッドホンの音量を [Master Volume] スライダー (P.9) で調節します。

#### メモ

ヘッドホン使用時でもピアノ本体から音が聞こえるようなヘッドホン 3D アンビエンス効果がかかります。

→ [Headphones 3D Ambience] (P.68)

# FP-E50 の基本操作

---

<b>各部の名称とはたらき</b> .....	<b>9</b>
トップ・パネル.....	9
リア・パネル.....	10

<b>基本操作と画面について</b> .....	<b>11</b>
電源を入れる／切る.....	11
全体の音量を調節する.....	11
一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ) .....	12
基本操作 .....	12
トップ画面.....	13
トーン・カテゴリー .....	14
トーン・バンク .....	14
トーン・リストでトーン・カテゴリー表示とトーン・バンク表示を切り替える .....	14
さまざまな機能にアクセスする (Menu 画面) .....	15
名前の変更をする (Rename 画面) .....	15



# 各部の名称とはたらき

## トップ・パネル

### トーン (Keyboard パート)

#### [One Touch Piano] ボタン

ピアノ音色だけの演奏に切り替えたいときに使用します。鍵盤モードが「シングル」になります。

#### [Ambience] ボタン (\*1)

アンビエンスをオン/オフします。

#### [Split/Dual] ボタン (\*2)

[Split/Dual] ボタンを押すたびに、「シングル」→「スプリット」→「デュアル」が順番に切り替わります。

**スプリット:**たとえば、左手はベースの音、右手はピアノの音で演奏するなど、ある鍵を境に鍵盤右側と左側のそれぞれで違う音色で演奏することができます。

**デュアル:**1つの鍵盤で、2つの音色を同時に重ねて鳴らすことができます。

#### [Transpose] ボタン

[Transpose] ボタンを押しながら [Dec] [Inc] ボタンを押すと、半音単位で移調します (移調できるのは鍵盤演奏のみ)。

#### メモ

[Transpose] ボタンを押しながら移調したい調の主音にあたる鍵盤を押して、鍵盤のトランスポーズの値を変えることもできます。

#### [Piano] [E.Piano] [Strings] [Organ/Pad] [Other] ボタン

各カテゴリーのトーンを選びます。

#### [Favorite] ボタン

お気に入りのトーンを呼び出します。ボタンの長押しで、登録画面が表示されます。

### 伴奏 (Accomp パート)

#### [Accomp On] ボタン (\*1)

ドラム以外の伴奏パートをオン/オフします。オフにすると、ドラム以外の伴奏パートが鳴らなくなります。

#### [Interactive On] ボタン (\*1)

インタラクティブ機能をオン/オフします (P.36)。

#### Chord Sequencer [Select] ボタン

コード・シーケンサーのコード・パターン番号を選びます。

\* Chord Sequencer [Select] ボタンを長押しすると、Chord Pattern View 画面が表示されます。

#### Chord Sequencer [On] ボタン (\*1)

コード・シーケンサーをオン/オフします。オンにするとコードを鍵盤で指定しなくても、コード・パターンに従ったコードで自動伴奏が動作します。

#### [Start/Stop] ボタン

自動伴奏を開始/停止します。

#### [Sync Start] ボタン

鍵盤演奏の演奏開始と同時に自動伴奏を開始します。

#### [Variation 1] [Variation 2] ボタン

伴奏の雰囲気を変えます。

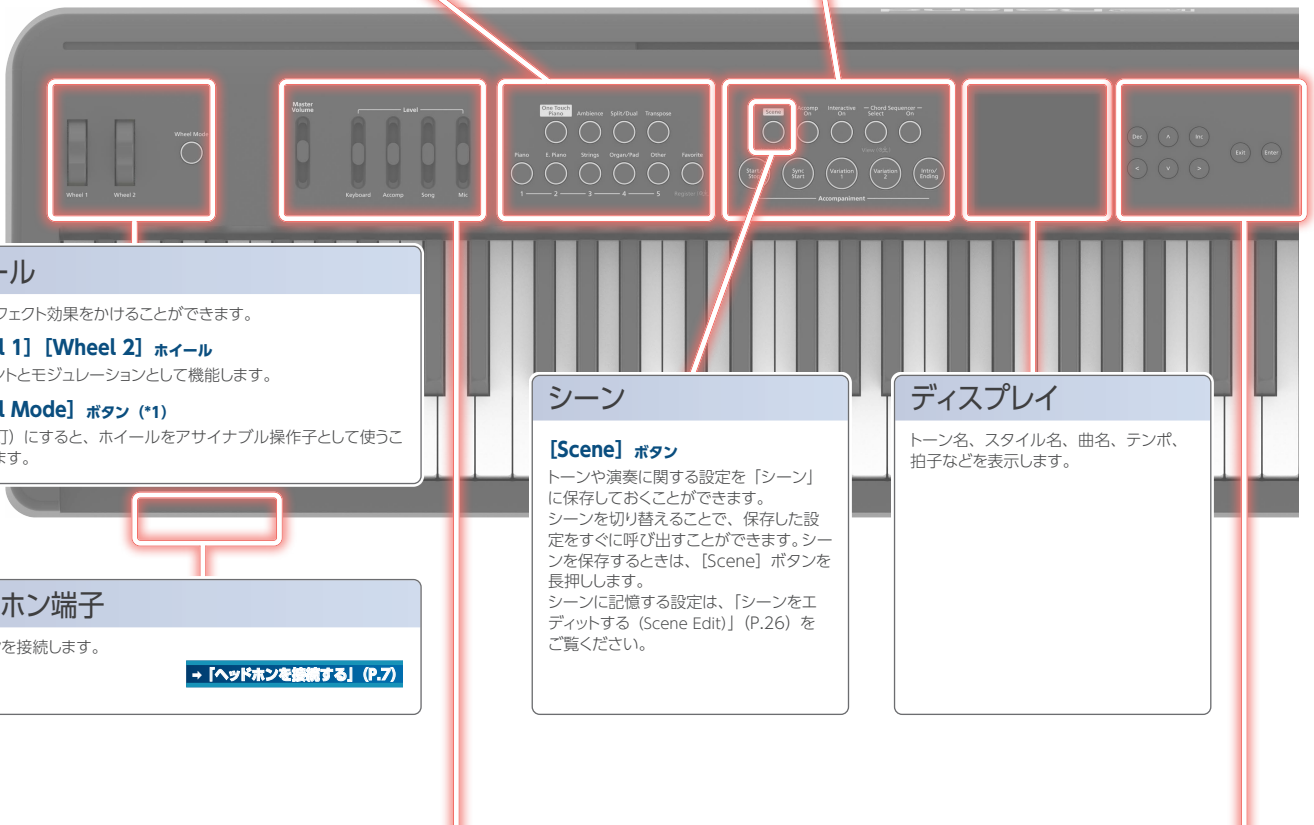
**バリエーション 1:**落ち着いた伴奏を演奏します。

**バリエーション 2:**盛り上がった伴奏を演奏します。

#### [Intro/Ending] ボタン

停止中に [Intro/Ending] ボタンを押してから、自動伴奏を開始するとイントロが鳴ります。

演奏中にボタンを押すと、自動伴奏がエンディングを鳴らして停止します。



### ホイール

音色にエフェクト効果を加えることができます。

#### [Wheel 1] [Wheel 2] ホイール

ピッチベントとモジュレーションとして機能します。

#### [Wheel Mode] ボタン (\*1)

オン (点灯) にすると、ホイールをアサインナブル操作子として使うことができます。

### ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

→ **「ヘッドホンを接続する」 (P.7)**

### シーン

#### [Scene] ボタン

トーンや演奏に関する設定を「シーン」に保存しておくことができます。シーンを切り替えることで、保存した設定をすぐに呼び出すことができます。シーンを保存するときは、[Scene] ボタンを長押しします。シーンに記憶する設定は、「シーンをエディットする (Scene Edit) (P.26) をご覧ください。

### ディスプレイ

トーン名、スタイル名、曲名、テンポ、拍子などを表示します。

### スライダー

[Master Volume] スライダーで全体の音量を調節します。Level の各スライダーでバランスを調節します。

#### [Master Volume] スライダー

本体スピーカー使用時はスピーカーの音量、ヘッドホン接続時はヘッドホンの音量を調節します。

#### Level [Keyboard] スライダー

鍵盤演奏の音量を調節します。

#### Level [Accomp] スライダー

自動伴奏の音量を調節します。

#### Level [Song] スライダー

ソング・プレーヤーの音量を調節します。

#### Level [Mic] スライダー

マイク (Mic Input 端子) の音量を調節します。

### 基本操作

#### [Dec] [Inc] ボタン

値を変えます。ボタンを押し続けると連続で値を変更します。連続で値を変更しているときに、もう一方のボタンを押すと、素早く値を変更することができます。同時押しで初期値に戻ります。

#### [A] [V] [<] [>] ボタン

カーソルを移動します。ボタンを押し続けると連続で移動します。連続で移動しているときに、もう一方のボタンを押すと、素早く移動することができます。

#### [Enter] ボタン

操作を決定します。トップ画面で Tone や Style にカーソルがあるときに [Enter] ボタンを押すと、リスト画面が表示されます。

#### [Exit] ボタン

操作をキャンセルします。また、画面から抜けたり、ウィンドウを閉じたりするときにも使います。

\*1 ボタンを長押しすると、設定画面に移動します。

\*2 [Split/Dual] ボタンの点灯時に [Split/Dual] ボタンを長押しすると、設定画面に移動します。

### メニュー／メトロノーム／テンポ

**[Menu] ボタン**  
 ボタンを押すと、メニューが表示されま  
 す。メニューを選び、詳細設定をします。  
 → **「さまざまな機能 (Menu)」 (P.59)**

※ [Menu] ボタンを長押しすると、  
 Bluetooth 接続のペアリングを開  
 始します。

**[Metronome] ボタン (\*1)**  
 メトロノームをオン/オフします。

**[Tempo] ボタン**  
 メトロノームとアレンジャーのテンポを変  
 えます。  
 ※ [Tempo] ボタンを長押しすると、タッ  
 プ・テンポ画面が表示され、[Enter]  
 ボタンを押すタイミングでテンポを設  
 定することができます (タップ・テン  
 ポ)。

### ソング・プレーヤー

オーディオ・ファイル (ソング) を再生し  
 ます。

**[Song] ボタン**  
 再生する曲 (ソング) を選びます。  
 ※ [Song] ボタンを長押しすると、デモ  
 機能が始められます。

**[▶/■] ボタン**  
 曲 (ソング) を再生/停止します。  
 ※ [▶/■] ボタンを長押しすると、曲の  
 先頭に戻ります。

**[◀/▶▶] ボタン**  
 Song Position ウィンドウが表示され  
 て、曲の早送り ([Inc] ボタン) や早戻し  
 ([Dec] ボタン) ができます。  
 また、LOOP MODE の設定もできます。

**[●] ボタン**  
 新しい曲 (ソング) を録音します。

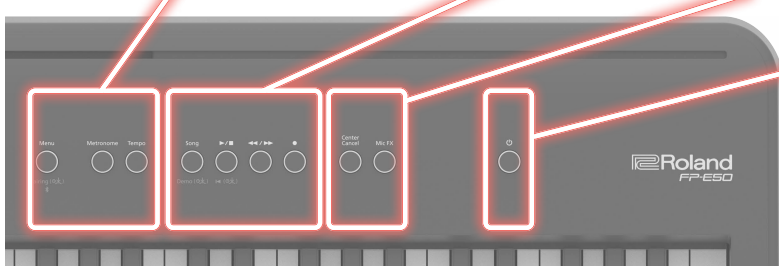
### センター・キャンセル ／マイク・エフェクト

**[Center Cancel] ボタン**  
 中央で鳴っている音 (ボーカルや、メロ  
 ディー楽器の音など) を小さくして再生  
 します。  
 ソング・プレーヤーで鳴るオーディオ・ファ  
 イル (ソング) や Bluetooth オーディ  
 オ、Input Stereo 端子の音に対して有  
 効です。

**[Mic FX] ボタン (\*1)**  
 マイク入力にエフェクトをかけます。

### 電源

**[⏻] (電源) ボタン**  
 電源をオン/オフします。  
 オフにするときはボタンを長押しします。  
 → **「電源を入れる/切る」 (P.11)**



## リア・パネル

※他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

### DC In

**DC In 端子**  
 AC アダプターを接続します。  
 AC アダプターをコンセントに接続すると、  
 インジケーターが点灯します。

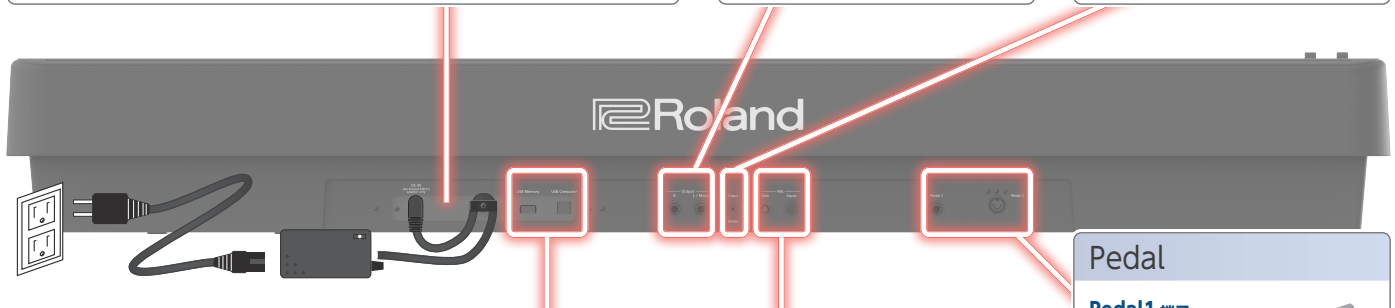
**コード・フック**  
 AC アダプターのコードは、図のようにコー  
 ド・フックを使って固定してください。  
 誤ってコードを引っ張ってしまっても、ブ  
 ラグが抜けて電源が切れてしまうことや、  
 DC IN 端子に無理な力が加わることを防ぎ  
 ます。

### Output

**Output L/Mono, R 端子**  
 アンプ内蔵スピーカー、録音機器などに  
 接続して音を出力します。  
 モノで出力するときは L/Mono 端子の  
 みに接続してください。

### Input

**Input Stereo 端子**  
 オーディオ機器を接続して、入力  
 音声を録音したり、本体の音とミッ  
 クスしたりすることができます。  
 センター・キャンセルをかけるこ  
 とができます。  
 インプット・レベルを調整することもで  
 きます。



### USB

**USB Memory 端子**  
 USB メモリー (市販品) を接  
 続します。  
 オーディオ・ファイル (ソング)  
 を再生したり、本体に記録した設定やデー  
 タを USB メモリーに保存したりできます。  
 ※ 画面に「Executing...」と表示されてい  
 る間は、絶対に電源を切ったり、USB メ  
 モリーを抜いたりしないでください。

**USB Computer 端子**  
 パソコンを USB ケー  
 ブルで接続します。  
 MIDI データやオーディ  
 オ・データの送受信をし  
 たり、本機の演奏をオーディオ信号として、  
 シーケンサー・ソフトウェア (DAW) に録音  
 したりすることができます。

### Mic

**[Gain] つまみ**  
 Mic Input 端子に入力される音量を調節  
 します。

**Mic Input 端子**  
 ダイナミック・マイクを接  
 続します。

### Pedal

**Pedal1 端子**  
 付属のペダル・スイッチ、ダ  
 ンパー・ペダル:DP-10 (別売)  
 やエクスプレッション・ペダル:  
 EV-5 (別売) を接続します。  
 → **「ペダルを接続する」 (P.6)**

**Pedal2 端子**  
 別売のペダル (KPD-70) を接続します。  
 KPD-70A は専用スタンドに取り付けて  
 使用します。詳しくは、KPD-70A の取  
 扱説明書をご覧ください。

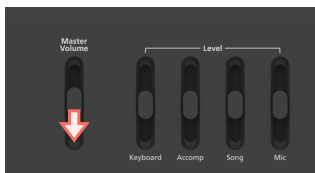
# 基本操作と画面について

## 電源を入れる／切る

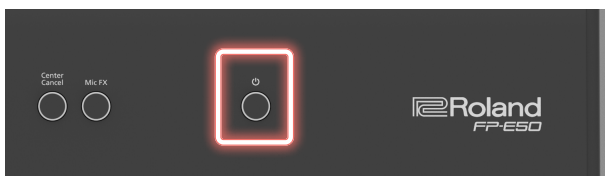
正しく接続したら (P.10) 必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

### 電源を入れる

1. [Master Volume] スライダーを下げて、音量を最小にします。



2. [⏻] (電源) ボタンを押して、電源を入れます。



#### 注意

- 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ホイール操作時の誤動作を防ぐため、電源投入時にはホイールに触れないようにしてください。

### 電源を切る

1. [Master Volume] スライダーを下げて、音量を最小にします。

2. 画面に「Don't disconnect the power.」と表示されるまで、[⏻] (電源) ボタンを押し続けます。

3. ボタンから指を離します。

しばらくすると電源が切れます。

#### 注意

- 再生や録音の最中や、USB メモリーからデータを読み書きしている場合は、決して FP-E50 の電源を切らないでください。
- FP-E50 は電源を切るときに、ロードされている (編集中の) シーンの内容が失われます。大切なデータは電源を切る前に保存してください。
- 完全に電源を切る必要があるときは、[⏻] (電源) ボタンを押して、この機器の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。

## 全体の音量を調節する

ヘッドホンが接続しているときは、[Master Volume] スライダーを動かすと、ヘッドホンの音量も変わります。

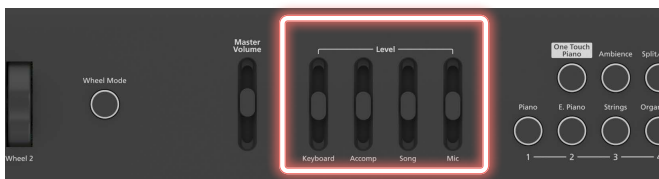


1. [Master Volume] スライダーで、機器全体の音量を調節します。

鍵盤を弾いて音を出しながら音量を調節します。スライダーを上動かすと音が大きくなり、下動かすと小さくなります。

## 音量バランスを調節する

4つの LEVEL スライダーで鍵盤を演奏するときの音量や、内蔵曲を再生するときの音量などを調節します。



1. Level セクションの各スライダーで、バランスを調節します。

スライダー	説明
Level [Keyboard] スライダー	鍵盤演奏の音量を調節します。
Level [Accomp] スライダー	自動伴奏の音量を調節します。
Level [Song] スライダー	ソング・プレーヤーの音量を調節します。
Level [Mic] スライダー	マイク (Mic Input 端子) の音量を調節します。

## 一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ)

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (オート・オフ機能)。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください。

※ 工場出荷時の設定: 240 分

- 電源が切れると保存されていない設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源をオンにするときは、電源を入れ直してください。

## オート・オフ機能を解除する

自動で電源を切る必要がない場合は、「Auto Off」を「Off」に設定します。

1. [Menu] ボタンを押します。  
Menu 画面が表示されます。
2. [Λ] [V] ボタンで [System] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. [Λ] [V] ボタンで [General] を選び、[Enter] ボタンを押します。
4. [Λ] [V] ボタンで [Auto Off] を選びます。
5. [Dec] [Inc] ボタンで、設定値を変更します。

パラメーター	設定値
Auto Off	Off、10、30、240 (分)

### メモ

Auto Off 設定は自動で保存されます。

## 基本操作



### カーソルを移動する ([Λ] [V] [<] [>] ボタン)

カーソルを移動します。ボタンを押し続けると連続で移動します。連続で移動しているときにもう一方のボタンを押すと、素早く移動することができます。

### 値を変える ([Dec] [Inc] ボタン)

値を変えます。ボタンを押し続けると連続で値を変更します。連続で値を変更しているときにもう一方のボタンを押すと、素早く値を変更することができます。同時押しで初期値に戻ります。

### 操作をキャンセルする ([Exit] ボタン)

操作をキャンセルします。また、画面から抜けたり、ウィンドウを閉じたりするときにも使います。

### 操作を決定する ([Enter] ボタン)

操作を決定します。  
Tone 画面で Tone や Style にカーソルがあるときに [Enter] ボタンを押すと、リスト画面が表示されます。

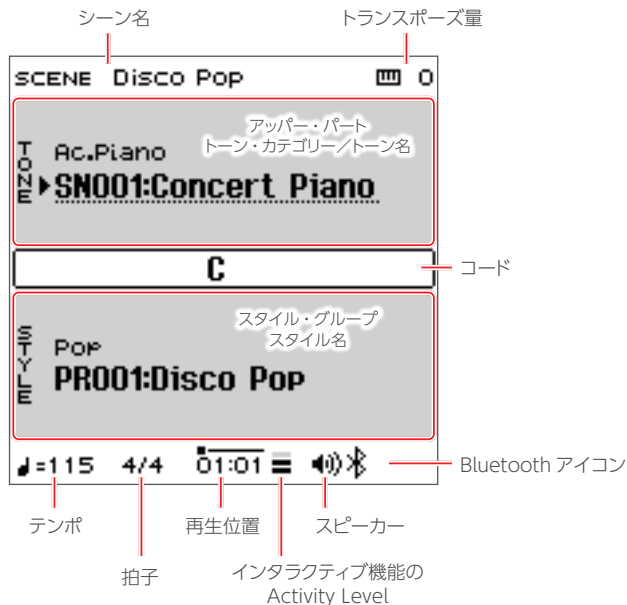
## トップ画面

FP-E50 のトップ画面は、鍵盤モード（シングル/スプリット/デュアル）の状態画面の構成が変わります。

[Exit] ボタンを数回押すと、トップ画面が表示されます。

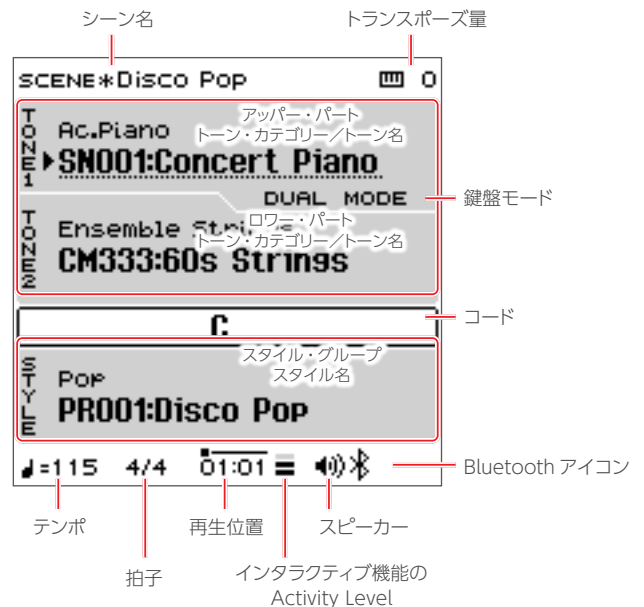
## シングル・モード

シングル・モードのトップ画面です。



## デュアル・モード

デュアル・モードのトップ画面です。

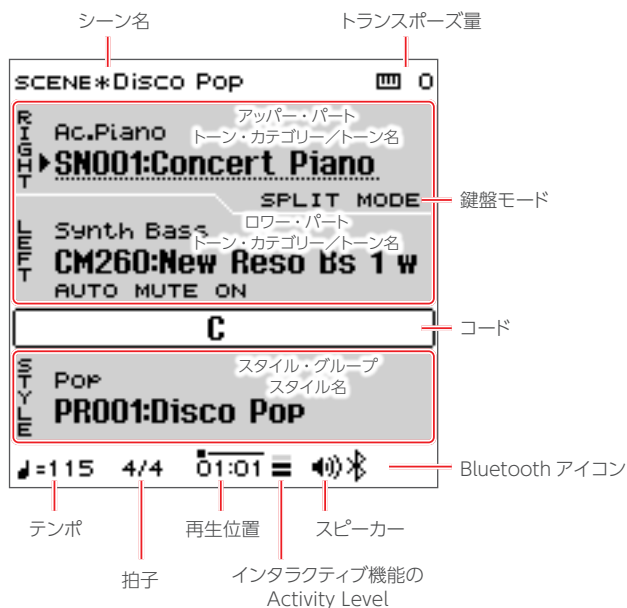


## メモ

- 再生位置は「小節：拍」を表示しています。上部のバーは全体の長さを表し、現在位置に「■」が表示されます。
- Bluetooth アイコン右側に接続されている機能のアイコン [Audio] [MIDI] が表示されます。

## スプリット・モード

スプリット・モードのトップ画面です。

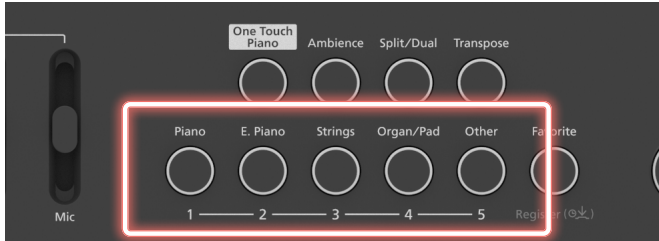


## トーン・カテゴリー

Ac.Piano や Synth Lead など、楽器や音色の種類による分類を「トーン・カテゴリー」と呼びます。

トーン・カテゴリーは全部で 50 種類あり、トーンごとにトーン・カテゴリーが決まっています。

FP-E50 は、5 つの Tone ボタンに対応したトーン・カテゴリーが割り当てられています。



## トーン・ボタンとカテゴリーの関係

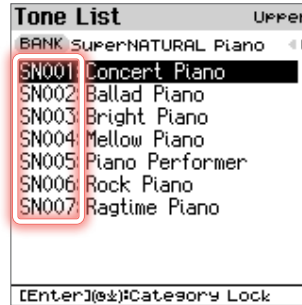
トーン・ボタン	カテゴリー
[Piano] ボタン	Ac.Piano、Pop Piano、E.Grand Piano
[E.Piano] ボタン	E.Piano1、E.Piano2
[Strings] ボタン	Solo Strings、Ensemble Strings
[Organ/Pad] ボタン	E.Organ、Pipe.Organ、Reed.Organ、Synth Pad/Str、Synth Bellpad、Synth PolyKey
[Other] ボタン	Harpichord、Clav、Celesta、Accordion、Harmonica、Bell、Mallet、Ac.Guitar、E.Guitar、Dist.Guitar、Ac.Bass、E.Bass、Synth.Bass、Plucked / Stroke、Orchestral、Solo Brass、Ensemble Brass、Wind、Flute、Sax、Recorder、Vox/Choir、Scat、Synth Lead、Synth Brass、Synth FX、Synth Seq/Pop、Phrase、Pulsating、Beat & Groove、Hit、Sound FX、Drums、Percussion、Stack、Zone、No Assign

## トーン・バンク

内蔵音色の音源方式や追加した音色などを区別するための分類を「トーン・バンク」と呼びます。

各バンクのトーンには 001 から番号が付いています。

## バンク記号の見かた

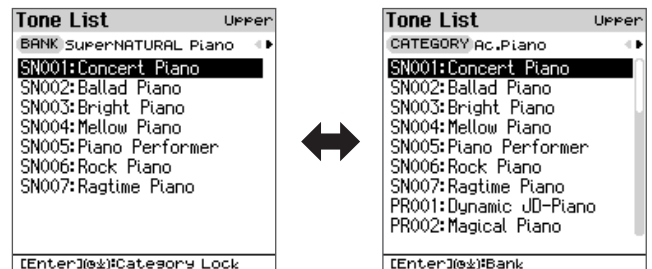


記号	説明
SN	SuperNATURAL Piano
PR	Preset
CM	Common
CD	Common Drums
U	User (Sound Pack からインポートしたトーンが表示されます。)
EX	Wave Expansion

## トーン・リストでトーン・カテゴリー表示とトーン・バンク表示を切り替える

FP-E50 はトーン・バンクと呼ばれる音源を複数搭載しており、それぞれのトーン・バンクが豊富な音色を持っています。また、トーン・カテゴリーを使うと、すべてのトーン・バンクを特定の楽器や音色の種類で絞り込むことができます。

### 1. Tone List 画面で、[Enter] ボタンを長押しします。

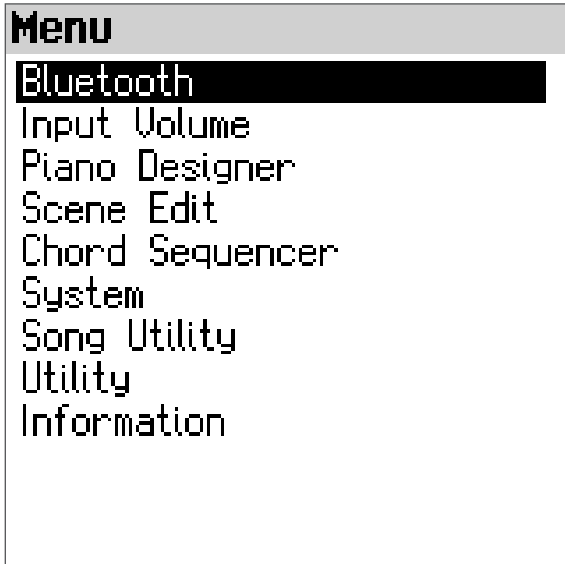


[Enter] ボタンを長押しするたびに表示が切り替わります。



## さまざまな機能にアクセスする (Menu 画面)

[Menu] ボタンを押すと、Menu 画面が表示されます。  
Menu 画面から、さまざまな機能にアクセスすることができます。



### Bluetooth

→ 「モバイル機器を Bluetooth 接続する」 (P.30)

### Input Volume

→ 「入力したオーディオの音量を調節する (Input Volume)」 (P.60)

### Scene Edit

→ 「シーンを編集する (Scene Edit)」 (P.62)

### Chord Sequencer

→ 「コード・シーケンサーを使う」 (P.39)

### System

→ 「システム設定をする (System)」 (P.67)

### Song Utility

→ 「便利な機能 (Song Utility)」 (P.53)

### Utility

→ 「便利な機能 (Utility)」 (P.70)

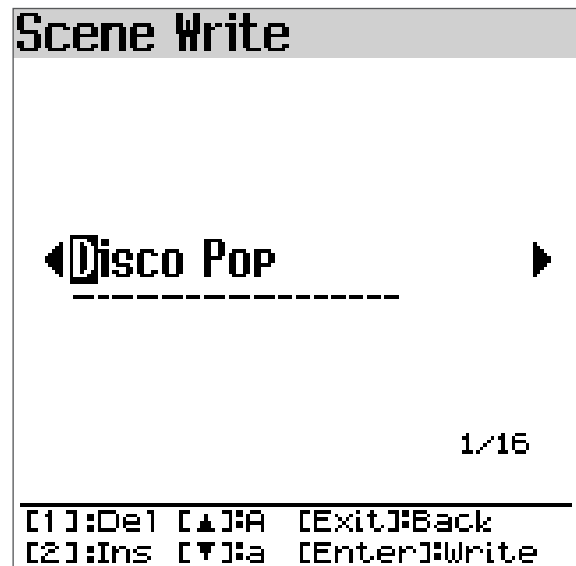
### Information

→ 「プログラムのバージョン情報を表示する (Information)」 (P.77)

## 名前の変更をする (Rename 画面)

シーンなどの名前を変更する画面です。

### Rename 画面 (シーンを保存するときのリネーム画面)



操作子	説明
[<] [>] ボタン	カーソルを移動します。
[Dec] [Inc] ボタン	文字を変更します。
[1] ([Piano]) ボタン	1 文字削除します。
[2] ([E.Piano]) ボタン	1 文字挿入します。
[^] ボタン	大文字に切り替えます。
[v] ボタン	小文字に切り替えます。
[Exit] ボタン	前の画面に戻ります。
[Enter] ボタン	画面によって動作が異なります。保存を実行したり、Write 画面から抜けたりします。

## 音色を選ぶ

---

<b>鍵盤モードを選ぶ</b> .....	<b>17</b>
鍵盤モードを切り替える.....	17
1つのパートで演奏する (シングル) .....	17
2つのパートで演奏する (デュアル/スプリット) .....	17
<b>トーンを選ぶ (Tone Select)</b> .....	<b>19</b>
トーン・ボタンで選ぶ .....	19
[Dec] [Inc] ボタンで選ぶ.....	19
Tone List 画面で選ぶ.....	20
<b>フェイバリット機能を使う (Favorite)</b> .....	<b>21</b>
フェイバリット・トーンの呼び出し .....	21
フェイバリット・トーンの登録 (Register Favorite).....	21
<b>標準のピアノ音色を選ぶ (One Touch Piano)</b> .....	<b>22</b>



# 鍵盤モードを選ぶ

## 鍵盤モードを切り替える

1. [Split/Dual] ボタンを押して、鍵盤モードを切り替えます。

[Split/Dual] ボタンを押すたびに鍵盤モードが切り替わります (シングル] → 「スプリット」 → 「デュアル」 → 「シングル」 ...)。

鍵盤モード	[Split/Dual] ボタン	トップ画面
シングル	消灯	
スプリット	点灯	
デュアル	点灯	

## 1つのパートで演奏する (シングル)

鍵盤全体を同じ音色で演奏することができます。  
 アッパー・パートのトーンが使われます。

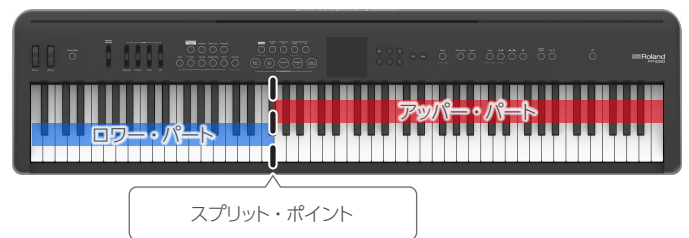


## 2つのパートで演奏する (デュアル/スプリット)

### 左手と右手で違うトーンで演奏する (スプリット)

たとえば、左手はベースの音、右手はピアノの音で演奏するなど、ある鍵を境に鍵盤右側と左側のそれぞれで違う音色で演奏することができます。

このような演奏を「スプリット演奏」といい、鍵盤が分かれる位置を「スプリット・ポイント」といいます。



### 鍵盤で分割位置を変更する (Split Point)

スプリット・ポイントを設定します。

スプリット・ポイントに設定した鍵盤は、ローワー・パートに含まれます。

1. [Split/Dual] ボタンを押しながら鍵盤を押します。

設定値 : B1 ~ B6 (初期値 : F#3)

### スプリットを設定する (Split Setting)

1. [Menu] ボタンを押します。
2. [∧] [v] ボタンで [Scene Edit] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. [∧] [v] ボタンで [Split Setting] を選び、[Enter] ボタンを押します。
4. [∧] [v] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Split Point	B1 ~ B6	スプリット・ポイントを設定します。
Balance	9:1 ~ 9:9 ~ 1:9	左右のパートの音量バランスを調節します。
Left Shift		ローワー・パートのオクターブ・シフト量を設定します。
Right Shift	-3 ~ 0 ~ +3	アッパー・パートのオクターブ・シフト量を設定します。

## 2つのトーンを重ねて演奏する (デュアル)

1つの鍵盤で、2つの音色を同時に重ねて鳴らすことができます。  
このような演奏を「デュアル演奏」といいます。



### メモ

重ねたい2つのトーン・ボタンを同時に押すと、2つのトーンを選びながら鍵盤モードを「デュアル」にすることができます。

### デュアルを設定する (Dual Setting)

1. [Menu] ボタンを押します。
2. [∧] [v] ボタンで [Scene Edit] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. [∧] [v] ボタンで [Dual Setting] を選び、[Enter] ボタンを押します。
4. [∧] [v] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Balance	9:1 ~ 9:9 ~ 1:9	2つのパートの音量バランスを調節します。
Tone1 Shift	-3 ~ 0 ~ +3	アッパー・パートのオクターブ・シフト量を設定します。
Tone2 Shift		ロー・パートのオクターブ・シフト量を設定します。

# トーンを選ぶ (Tone Select)

鍵盤パートのトーンの変更方法は以下の3通りあります。

## トーン・ボタンで選ぶ (P.19)

トーン・ボタンに割り当てられたトーンを選びます。

2つのトーン・ボタンを同時に押すと、「デュアル・モード」(P.13)になります。

## [Dec] [Inc] ボタンで選ぶ (P.19)

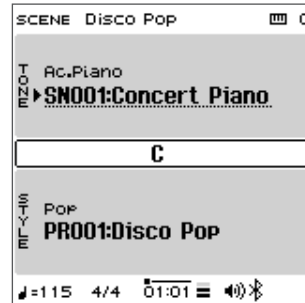
トップ画面で、トーン名、トーン・カテゴリ、トーン・バンクにカーソルがあるときに [Dec] [Inc] ボタンを操作します。

## Tone List 画面で選ぶ (P.20)

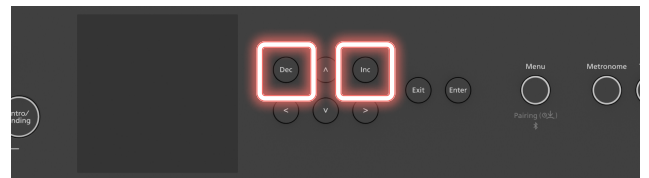
トーンをリスト形式の画面で選ぶことができます。

## [Dec] [Inc] ボタンで選ぶ

1. トップ画面で、トーン名、トーン・カテゴリまたはトーン・バンクにカーソルを移動します。

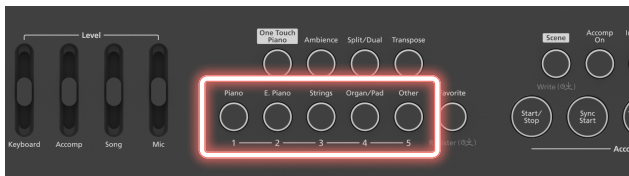


2. [Dec] [Inc] ボタンを押してトーンを選びます。



## トーン・ボタンで選ぶ

1. 選みたいトーンのトーン・ボタンを押します。



トーン・ボタンに割り当てられたトーンが選ばれ、ボタンのインジケーターが点灯します。

→ トーン・ボタンとカテゴリの関係 (P.20)

再度同じトーン・ボタンを押すと、Tone List 画面が表示されます。

→ Tone List 画面 (カテゴリ形式表示) (P.20)

→ Tone List 画面 (バンク形式表示) (P.20)

### メモ

トーン・ボタンを押すと、そのトーン・ボタンで前回選んでいた音色が呼び出されますが、電源を入れ直すと初期状態に戻ります。

## 鍵盤モードごとのトーン選択の対象パートについて

### シングル

**常時:** アッパー・パートのトーンを選びます。

### スプリット

**ロワー (左) パートを選択中:** ロワー (左) パートのトーンを選びます。

**上記以外:** アッパー・パートのトーンを選びます。

### デュアル

**ロワー (トーン 2) パートを選択中:** ロワー (トーン 2) パートのトーンを選びます。

**上記以外:** アッパー・パートのトーンを選びます。

## Tone List 画面で選ぶ

トーンをリスト形式の画面で選ぶことができます。  
 カテゴリー方式とバンク方式の 2 種類の画面を切り替えることができます。  
 Tone List 画面でカテゴリーの種類やバンクの種類を切り替えることができます。  
 Tone List 画面のヘッダーに変更しているパートが表示されます。

### 1. 選択中のトーン・ボタン (点灯しているボタン) を押します。

Tone List 画面が表示されます。

#### メモ

[Enter] ボタンを長押しすると、トーン・リストの表示を切り替えることができます。

ボタンを押すたびにカテゴリー形式表示とバンク形式表示が交互に切り替わります。

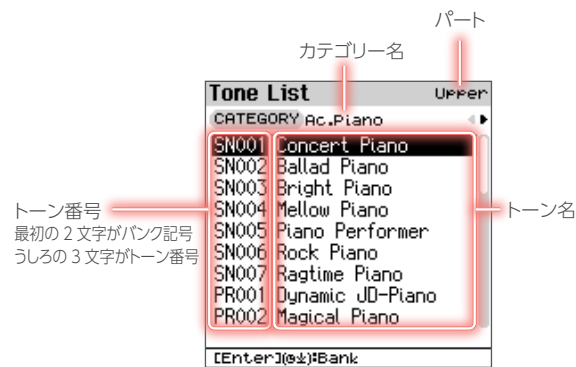
- Tone List (カテゴリー形式表示)
- Tone List (バンク形式表示)

### 2. [<] [>] ボタンを押して、カテゴリーまたはバンクを切り替えます。

### 3. [v] [^] ボタンで、トーンを選びます。

### 4. [Exit] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

## Tone List 画面 (カテゴリー形式表示)



操作子	説明
[<] [>] ボタン	カテゴリーを選びます。
[v] [^] ボタン [Dec] [Inc] ボタン	トーンを選びます。
[Enter] ボタン長押し	リストの表示形式を切り替えます (カテゴリー形式 ↔ バンク形式)。

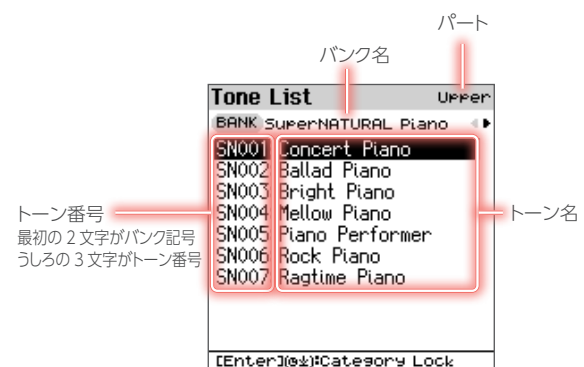
## トーン・ボタンとカテゴリーの関係

音色は 5 つのグループに分けられ、それぞれ音色ボタンに割り当てられています。

トーン・ボタン	カテゴリー
[Piano] ボタン	Ac.Piano、Pop Piano、E.Grand Piano
[E.Piano] ボタン	E.Piano1、E.Piano2
[Strings] ボタン	Solo Strings、Ensemble Strings

トーン・ボタン	カテゴリー
[Organ/Pad] ボタン	E.Organ、Pipe.Organ、Reed.Organ、Synth Pad/Str、Synth Bellpad、Synth PolyKey
[Other] ボタン	Harpichord、Clav、Celesta、Accordion、Harmonica、Bell、Mallet、Ac.Guitar、E.Guitar、Dist.Guitar、Ac.Bass、E.Bass、Synth.Bass、Plucked / Stroke、Orchestral、Solo Brass、Ensemble Brass、Wind、Flute、Sax、Recorder、Vox/Choir、Scat、Synth Lead、Synth Brass、Synth FX、Synth Seq/Pop、Phrase、Pulsating、Beat & Groove、Hit、Sound FX、Drums、Percussion、Stack、Zone、No Assign

## Tone List 画面 (バンク形式表示)



操作子	説明
[<] [>] ボタン	バンクを選びます。
[v] [^] ボタン [Dec] [Inc] ボタン	トーンを選びます。
[Enter] ボタン長押し	リストの表示形式を切り替えます (バンク形式 ↔ カテゴリー形式)。

## バンク記号の見かた

記号	説明
SN	SuperNATURAL Piano
PR	Preset
CM	Common
CD	Common Drums
U	User (Sound Pack からインポートしたトーンが表示されます。)
EX	Wave Expansion

# フェイバリット機能を使う (Favorite)

ライブ演奏で頻繁に使うトーンを「フェイバリット」に登録しておくことで、即座に呼び出すことができるようになります。

1つのバンクに、トーンを5個登録することができます。

さらにこのバンクを10個(1~10)作成することができます。

たとえば、ライブで演奏する曲のトーンを、曲の流れに従って順番に登録しておくといった使いかたができます。

## シーンとのフェイバリットとの違い

シーンはKeyboardパートのトーン、デュアルやスプリット、自動伴奏の設定、MIC FX設定、ホイールやペダルの設定などの演奏設定を覚えます。

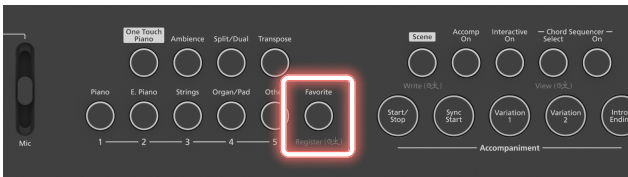
フェイバリットは自分のお気に入りのトーン番号を覚えています。どのシーンからもフェイバリット機能を通してお気に入りのトーンを気軽に選ぶことができます。

## フェイバリット・トーンの呼び出し

フェイバリット・トーンを呼び出します。

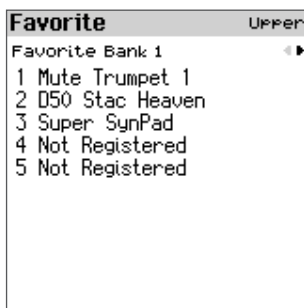
Favorite画面のときだけ、トーン・ボタンがフェイバリット・トーン選択ボタンとして機能します。

### 1. [Favorite] ボタンを押します。



[Favorite] ボタンが点灯し、トーン・ボタンの機能がフェイバリット選択モードになります。

Favorite画面が表示されます。



### 2. [<] [>] ボタンで、フェイバリット・バンクを切り替えます。

### 3. トーン・ボタンで、フェイバリット・トーンを選びます。

[^] [v] ボタンや [Dec] [Inc] ボタンで選ぶこともできます。

### 4. [Favorite] ボタンまたは [Exit] ボタンを押して、元の画面に戻ります。

フェイバリット選択モードが終了し、[Favorite] ボタンが消灯します。

## フェイバリット・トーン登録 (Register Favorite)

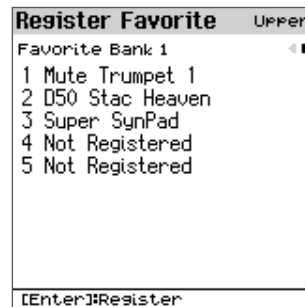
現在選んでいるトーンをフェイバリット・トーンに登録します。

フェイバリット・トーンは10個のバンクに5個ずつ登録することができます。

### 1. [Favorite] ボタンを長押しします。

[Favorite] ボタン点滅し、トーン・ボタンの機能がフェイバリット登録モードになります。

Register Favorite画面が表示されます。



### 2. [<] [>] ボタンで、保存先 (バンク) を選びます。

### 3. トーン・ボタンで、保存先 (ナンバー) を選びます。

[^] [v] ボタンや [Dec] [Inc] ボタンで選ぶこともできます。

### 4. [Enter] ボタンを押します。

選んだフェイバリット・バンク/ナンバーにトーンが登録されます。

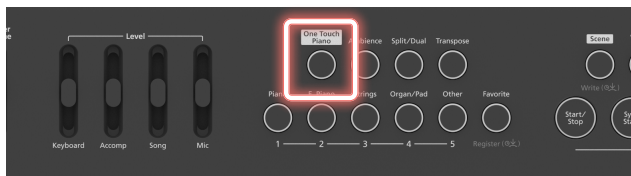
登録が終わると、フェイバリット選択モードになります。

中止するときは、[Exit] ボタンまたは [Favorite] ボタンを押します。フェイバリット選択モードになります。

# 標準のピアノ音色を選ぶ (One Touch Piano)

[One Touch Piano] ボタンを押すだけで、鍵盤モードが「シングル」になり、アッパー・パートのトーンが「Sn001:Concert Piano」になります。

## 1. [One Touch Piano] ボタンを押します。



トップ画面が表示され、シングル・モードでピアノ音色が選ばれます。



## 基本機能

---

### メトロノームを使う (Metronome) . . . . . 24

- メトロノームを鳴らす . . . . . 24
- メトロノームの設定を変える (Metronome) . . . . . 24

### テンポを設定する (Tempo) . . . . . 25

- テンポを変える . . . . . 25
- シーンやスタイルを切り替えてもテンポが変わらないようにする (Tempo Lock) . . . . . 25
- ボタンを押すタイミングでテンポを設定する (Tap Tempo) . . . . . 25

### シーン (Scene) . . . . . 26

- シーンを選ぶ (Scene Select) . . . . . 26
- シーンをエディットする (Scene Edit) . . . . . 26
- シーンを保存する (Scene Write) . . . . . 27

### 音に響きを付ける (Ambience) . . . . . 28

- アンビエンスをオン/オフする . . . . . 28
- アンビエンスを設定する (Ambience Setting) . . . . . 28

### 移調して演奏する (Transpose) . . . . . 29

- トランスポーズをオン/オフする . . . . . 29
- トランスポーズを設定する . . . . . 29

# メトロノームを使う (Metronome)

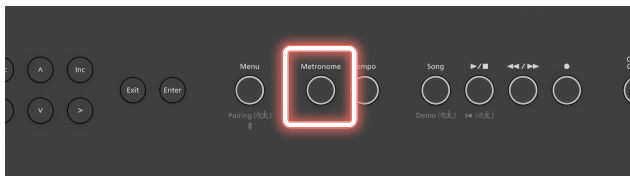
メトロノームを鳴らしながら演奏することができます。メトロノームのテンポや拍子を変えることもできます。

曲の再生中は、メトロノームはその曲のテンポや拍子に合わせて鳴ります。

## メトロノームを鳴らす

メトロノームを鳴らします。

### 1. [Metronome] ボタンを押します。



メトロノームが鳴り、拍子に合わせて [Metronome] ボタンが光ります。

拍	ボタンの光りかた
1 拍目	赤く点灯します。
その他の拍	白く点灯します。

### 2. メトロノームを止めるときは、もう一度 [Metronome] ボタンを押します。

## メトロノームの設定を変える (Metronome)

メトロノームの設定を変えます。

### 1. [Metronome] ボタンを長押しします。

Metronome 画面が表示されます。

Metronome	
Beat	4/4
Down Beat	ON
Pattern	OFF
Volume	5
Tone	Click
[Scene]System Write	

### 2. [A] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Beat	2/2、3/2、 2/4、3/4、 4/4、5/4、 6/4、7/4、 3/8、6/8、 8/8、9/8、 12/8	メトロノームの拍子を変更します。 ※ スタイル再生中は、Beat の変更ができません。
Down Beat	OFF、ON	強拍にアクセントを付けます。

パラメーター	設定値	説明
Pattern	OFF、+ ♪、 + ♪♪、+ ♪♪♪、 + ♪♪♪♪、+ ♪♪♪♪♪、 + ♪、+ ♪	メトロノームのパターンを変更します。
Volume	0 ~ 10	メトロノームの音量を変更します。
Tone	Click、 Electronic、 Voice (Jp)、 Voice (En)	メトロノームの音色を変更します。

### 3. 設定を保存するときは、[Scene] ボタンを押します。

中止するときは [Exit] ボタンを押します。  
設定を終了して、Metronome 画面が閉じます。

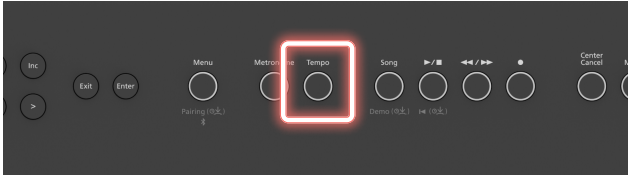


# テンポを設定する (Tempo)

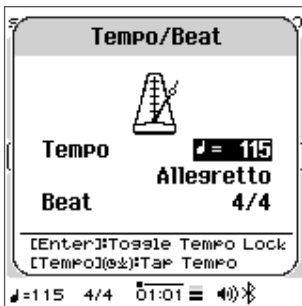
## テンポを変える

テンポを変えます。

### 1. [Tempo] ボタンを押します。



Tempo/Beat ウィンドウが開きます。



### 2. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Tempo	10 ~ 300	メトロノームのテンポを変えます。
(速度記号)	Grave	♩ = 40
	Largo	♩ = 46
	Lento	♩ = 52
	Larghetto	♩ = 58
	Adagio	♩ = 63
	Adagietto	♩ = 66
	Andante	♩ = 72
	Andantino	♩ = 80
	Maestoso	♩ = 88
	Moderato	♩ = 96
	Allegretto	♩ = 108
	Allo. Moderato	♩ = 120
	Allegro	♩ = 132
	Allo. Assai	♩ = 144
	Allo. Vivace	♩ = 152
	Vivace	♩ = 160
	Presto	♩ = 184
Prestissimo	♩ = 200	
Beat	2/2、3/2、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8、8/8、9/8、12/8、	メトロノームの拍子を変更します。 ※ スタイル再生中は、Beat の変更ができません。

### 3. [Exit] ボタンを押します。

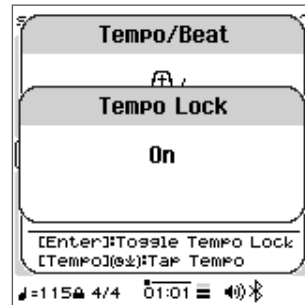
設定を終了して、Tempo/Beat 画面が閉じます。

## シーンやスタイルを切り替えてもテンポが変わらないようにする (Tempo Lock)

シーンやスタイルを切り替えても、テンポが変わらなくなります。

### 1. Tempo/Beat ウィンドウで、[Enter] ボタンを押します。

テンポ・ロックがオンになります。



### 2. テンポ・ロックを解除するときは、もう一度 Tempo/Beat ウィンドウで [Enter] ボタンを押します。

#### メモ

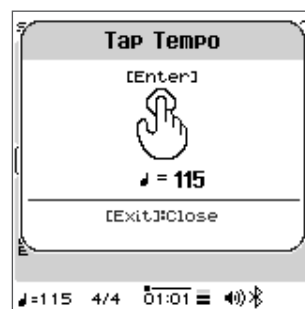
Tempo/Beat ウィンドウで [Enter] ボタンを押すたびに、テンポ・ロックのオン/オフが切り替わります。

## ボタンを押すタイミングでテンポを設定する (Tap Tempo)

[Enter] ボタンを押すタイミングで、テンポを設定することができます。

### 1. [Tempo] ボタンを長押しします。

Tap Tempo 画面が表示されます。



### 2. 設定したいテンポの 4 分音符のタイミングで、[Enter] ボタンを 3 回以上押します。

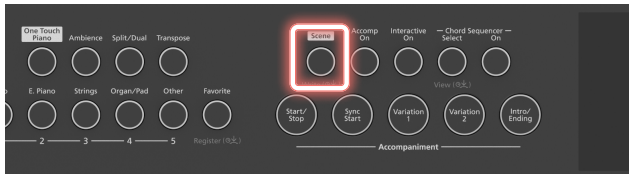
### 3. [Exit] ボタンを押して、Tap Tempo 画面を閉じます。

# シーン (Scene)

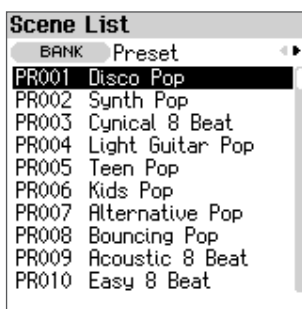
Keyboard パート、自動伴奏、コード・シーケンサー、マイク設定を含む演奏設定をシーンと呼びます。

## シーンを選ぶ (Scene Select)

1. [Scene] ボタンを押します。



Scene List 画面が表示されます。



2. [<] [>] ボタンで、「Preset」か「User」を選びます。
3. [Λ] [V] ボタンで、シーンを選びます。

[Dec] [Inc] ボタンで選ぶこともできます。

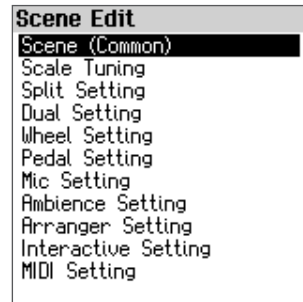
### 注意

シーンをエディットすると、シーン名の先頭に「\*」（エディット・マーク）が表示されます。「\*」が付いているシーンから他のシーンに切り替えると、エディットした内容は失われます。

## シーンをエディットする (Scene Edit)

1. [Menu] ボタンを押します。  
Menu 画面が表示されます。
2. [Λ] [V] ボタンで「Scene Edit」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Scene Edit 画面が表示されます。



3. [Λ] [V] ボタンでエディットしたい項目を選び、[Enter] ボタンを押します。

### Scene (Common)

→ 「全体を設定する (Scene (Common))」 (P.62)

### Scale Tuning

→ 「調律法を変える (Scale Tuning)」 (P.63)

### Split Setting

→ 「スプリットを設定する (Split Setting)」 (P.17)

### Dual Setting

→ 「デュアルを設定する (Dual Setting)」 (P.18)

### Wheel Setting

→ 「ホイールに機能を割り当てる (Wheel Setting)」 (P.64)

### Pedal Setting

→ 「ペダルに機能を割り当てる (Pedal Setting)」 (P.65)

### Mic Setting

→ 「マイク・エフェクトを設定する (Mic Setting)」 (P.46)

### Ambience Setting

→ 「アンビエンスを設定する (Ambience Setting)」 (P.28)

### Arranger Setting

→ 「自動伴奏を設定する (Arranger Setting)」 (P.37)

### Interactive Setting

→ 「インタラクティブ機能を設定する (Interactive Setting)」 (P.38)

### MIDI Setting

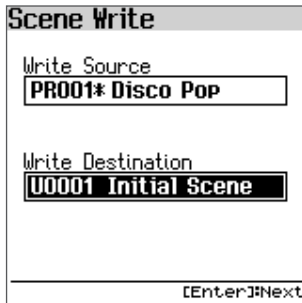
→ 「MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI Setting)」 (P.66)

## シーンを保存する (Scene Write)

エディットしたあとに、別のシーンを選んだり電源を切ったりすると、変更した設定は消えてしまいます。大事なデータは保存しましょう。

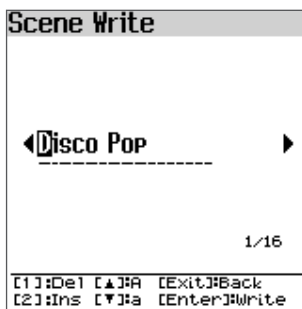
### 1. [Scene] ボタンを長押しします。

Scene Write 画面が表示されます。



### 2. [Dec] [Inc] ボタンで書き込み先のシーンを選び、[Enter] ボタンを押します。

Rename 画面が表示されます。

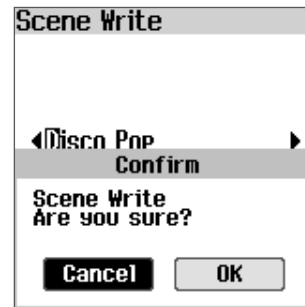


## Rename 画面の操作

操作子	説明
[<] [>] ボタン	カーソルを移動します。
[^] [v] ボタン	大文字、小文字を切り替えます。
[Dec] [Inc] ボタン	文字を変更します。
[1] ([Piano]) ボタン	1 文字削除します。
[2] ([E.Piano]) ボタン	1 文字挿入します。
[Exit] ボタン	編集中の名前を記憶して Destination 選択画面に戻ります。
[Enter] ボタン	確認画面が表示されます。

### 3. シーン名が決まったら、[Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

### 4. [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。

保存が終了すると「Completed!」と表示され、元の画面に戻ります。

# 音に響きを付ける (Ambience)

音にコンサート・ホールや大聖堂などで演奏しているような響きを付けます。「アンビエンスの種類」を変えることで、ピアノをさまざまな場所で弾いたときの音の響きを再現できます。

## アンビエンスをオン/オフする

### 1. [Ambience] ボタンを押します。



[Ambience] ボタンが点灯し、アンビエンスがオンになります。

### 2. アンビエンスをオフにするときは、もう一度 [Ambience] ボタンを押します。

[Ambience] ボタンが消灯し、アンビエンスがオフになります。

## アンビエンスを設定する (Ambience Setting)

### 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

### 2. [▲] [▼] ボタンで [Scene Edit] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Scene Edit 画面が表示されます。

### 3. [▲] [▼] ボタンで [Ambience Setting] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Ambience Setting 画面が表示されます。

Ambience Settings	
Ambience Switch	ON
Ambience Type	Concert Hall
Kbd Ambience Send	1
Mic Ambience Send	6

### 4. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Ambience Switch	OFF、ON	アンビエンスをオン/オフします。
Ambience Type	Studio、Lounge、Concert Hall、Cathedral	さまざまな場所でのアンビエンスの種類を選びます。
Kbd Ambience Send	0 ~ 10	キーボード・パートにかかるアンビエンスの深さを調節します。値が大きいほど音の響きが深くなり、値が小さいほど音の響きは浅くなります。

パラメーター	設定値	説明
Mic Ambience Send	0 ~ 10	マイク・パートにかかるアンビエンスの深さを調節します。値が大きいほど音の響きが深くなり、値が小さいほど音の響きは浅くなります。 ※ Mic Setting 画面内の [Mic Ambience Send] パラメーター (P.46) と共通の設定です。

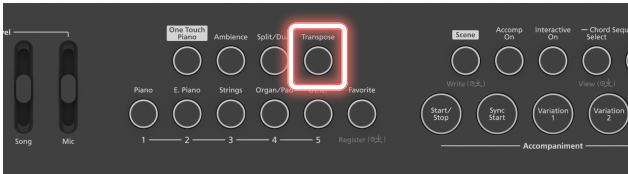
# 移調して演奏する (Transpose)

鍵盤を半音単位で移調することができます。

たとえば、ホ長調 (E) の曲をハ長調 (C) の鍵盤の位置で弾く場合は、鍵盤のトランスポーズを「4」に設定します。

## トランスポーズをオン/オフする

1. [Transpose] ボタンを押します。



[Transpose] ボタンが点灯し、トランスポーズがオンになります。

2. トランスポーズをオフにするときは、もう一度 [Transpose] ボタンを押します。

[Transpose] ボタンが消灯し、トランスポーズがオフになります。

## トランスポーズを設定する

1. [Transpose] ボタンを押しながら [Dec] [Inc] ボタンを押して、トランスポーズ量を設定します。



トランスポーズがオンになり、[Transpose] ボタンが点灯します。

[Transpose] ボタンを押している間は Keyboard Transpose 画面が表示されるので、トランスポーズ量を確認することができます。

パラメーター	設定値	説明
Keyboard Transpose	-6 ~ 0 ~ +5	鍵盤を半音単位で移調します。

### メモ

Keyboard Transpose 画面の表示中に、[Transpose] ボタンを長押ししながら鍵盤を押してトランスポーズ量を設定することもできます (C を基準に増減値を設定します)。

2. トランスポーズをオフにするときは、もう一度 [Transpose] ボタンを押します。

[Transpose] ボタンが消灯し、トランスポーズがオフになります。

# モバイル機器を Bluetooth 接続する

---

## ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす (Bluetooth 機能) . . . . . **31**

- 初期設定をする (ペアリング) . . . . . 31
- オーディオを再生する . . . . . 31

## ピアノとアプリを一緒に使う . . . . . **33**

- このピアノと一緒に使えるアプリ . . . . . 33
- 設定をする (ペアリング) . . . . . 33

# ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす (Bluetooth 機能)

モバイル機器で再生する音楽データを、ワイヤレスで FP-E50 のスピーカーから鳴らすために設定します。

※ FP-E50 とのペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。「初期設定済みのモバイル機器を接続する」(P.31) の手順をご覧ください。

## 初期設定をする (ペアリング)

例として、iPad を使った設定方法を紹介します。Android 機器をお使いの場合、設定方法についてはお使いのモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

### 1. 接続したいモバイル機器を FP-E50 の周辺に置きます。

### 2. [Menu] ボタンを長押しします。

[Now Pairing...] と表示されます。

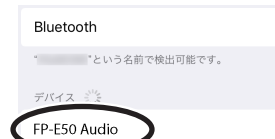
#### メモ

[Menu] → [Bluetooth] → [Bluetooth Pairing] → [Enter] でペアリングを開始することもできます。

### 3. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



### 4. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「FP-E50 Audio」をタップします。



FP-E50 とモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、以下のように表示されます。

機器	説明
モバイル機器	「自分のデバイス」欄に「FP-E50 Audio」が追加されます。
FP-E50	画面に「Application Connected.」と表示され、Bluetooth マーク横に「AUDIO」と表示されます。 

### 5. FP-E50 の [Exit] ボタンを何度か押して、トップ画面に戻ります。

初期設定は完了です。

## 初期設定済みのモバイル機器を接続する

### 1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

FP-E50 とモバイル機器が無線につながります。

#### メモ

- 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「FP-E50 Audio」をタップしてください。
- FP-E50 本体をファクトリー・リセットしたあとは、モバイル機器から「FP-E50 Audio」を削除して、初期設定をやり直してください。

## オーディオを再生する

### 1. モバイル機器で音楽データを再生します。

FP-E50 のスピーカーから音が鳴ります。

#### メモ

再生中のオーディオにセンター・キャンセルをかけることができます。

## Bluetooth オーディオの音量を調節する

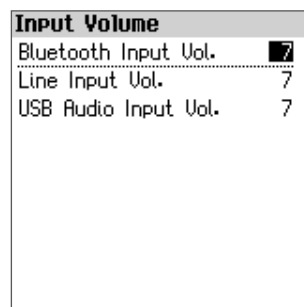
通常は、お使いのモバイル機器側でボリュームを調節します。それでも思ったようなボリュームにならないときは、以下の操作でボリュームを調節します。

### 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

### 2. [Λ] [v] ボタンで「Input Volume」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Input Volume 画面が表示されます。



### 3. [Λ] [v] ボタンで「Bluetooth Input Vol.」を選び、[Dec] [Inc] ボタンでボリュームを調節します。

パラメーター	設定値	説明
Bluetooth Input Vol.	0 ~ 10	Bluetooth オーディオの入力レベルを調節します。

## 複数台の FP-E50 とペアリングをするとき (Bluetooth ID)

たとえば、音楽教室にある複数台の FP-E50 とモバイル機器のペアリングをするときは、すべての FP-E50 に別々の Bluetooth ID (識別番号) を設定すると、目的の FP-E50 とペアリングすることができます。

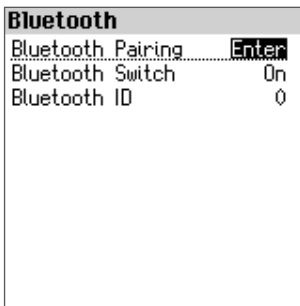
※この設定をすると、モバイル機器にデバイス名が表示されるときに、末尾に識別番号付きで表示されます (「FP-E50 Audio 1」など)。

### 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

### 2. [Λ] [v] ボタンで「Bluetooth」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Bluetooth 画面が表示されます。



### 3. [Λ] [v] ボタンで「Bluetooth ID」を選び、[Dec] [Inc] ボタンで ID の値を変えます。

パラメーター	設定値	説明
Bluetooth ID	0 ~ 99	[0] に設定 : 「FP-E50 Audio」 「FP-E50 MIDI」 (初期値) [1] に設定 : 「FP-E50 Audio 1」 「FP-E50 MIDI 1」

※FP-E50 が複数台ある環境でペアリングするときは、ペアリングする FP-E50 とモバイル機器のみ電源を入れることをおすすめします (他の機器の電源は切ってください)。



# ピアノとアプリを一緒に使う

ピアノと連携して、モバイル機器にインストールしたアプリを使えるようにする設定をします。

## このピアノと一緒に使えるアプリ

アプリ名	対応 OS	説明
 Roland Piano App	iOS Android	電子楽譜を表示したり、ゲーム感覚で曲の練習をしたり、練習の記録をつけたりすることができます。 

- ※ アプリは App Store、Google Play よりダウンロードできます (無料)。
- ※ 上記以外にも、**Bluetooth MIDI** 対応の音楽アプリ (GarageBand など) を使うことができます。
- ※ 本書は、発行時点での当社製アプリの情報を掲載しています。最新情報については、ローランド・ホームページをご覧ください。

## 設定をする (ペアリング)

モバイル機器にインストールしたアプリとピアノと一緒に使う設定をします。ここでは、例として iPad を使ってアプリ「Roland Piano App」を使うときの手順を紹介합니다。

※ 「ピアノをアプリと一緒に使う」場合は、ピアノ側の設定は不要です。アプリからの操作でピアノとペアリングをします。

### 1. モバイル機器の設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



#### 注意

「デバイス」欄に、お使いの製品名 (「FP-E50 MIDI」など) が表示されてもタップしないでください。

### 2. モバイル機器にインストールしたアプリを起動します。

### 3. アプリ画面上部の「接続ステータス」をタップし、「ピアノと接続する」をタップします。



アプリ画面に「FP-E50 MIDI」が表示されます。

### 4. 「FP-E50 MIDI」をタップします。

ピアノとモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、以下のように表示されます。

機器	説明
モバイル機器	「自分のデバイス」欄に「FP-E50 MIDI」が追加されます。
FP-E50	画面の Bluetooth マーク横に「MIDI」と表示されます。 

以上で設定は完了です。

## 自動伴奏とコード・シーケンサー

---

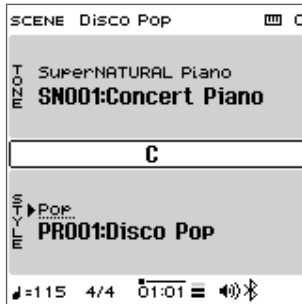
<b>自動伴奏を使う</b> .....	<b>35</b>
スタイルを選ぶ.....	35
自動伴奏の使いかた (Accompaniment) .....	35
自動伴奏を設定する (Arranger Setting) .....	37
インタラクティブ機能を設定する (Interactive Setting) .....	38
再生時にスプリットの左手演奏を自動でミュートする (AUTO MUTE) .....	38
<b>コード・シーケンサーを使う</b> .....	<b>39</b>
コード・シーケンサーをオン/オフする.....	39
コード・パターンを選ぶ.....	39
コード・パターンを再生する.....	39
コード・パターンを同期再生する .....	39
コード・パターンの内容を確認する (Chord Pattern View 画面) .....	40
コード・パターンをエディットする (Edit Menu) .....	40

# 自動伴奏を使う

## スタイルを選ぶ

[Dec] [Inc] ボタンで選ぶ

1. トップ画面で、スタイル名、スタイル・カテゴリまたはスタイル・バンクにカーソルを移動します。

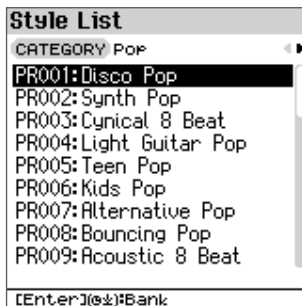


2. [Dec] [Inc] ボタンを押して、スタイルを選びます。

## カテゴリのリストから選ぶ

1. トップ画面で、カーソルをカテゴリに移動して、[Enter] ボタンを押します。

Style List 画面 (CATEGORY) が表示されます。



2. [<] [>] ボタンで、カテゴリを選びます。
3. [A] [V] ボタンで、スタイルを選びます。
4. [Enter] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

### メモ

Style List 画面 (CATEGORY) で [Enter] ボタンを長押しすると、Style List 画面 (BANK) に切り替えることができます。

## バンクのリストから選ぶ

1. トップ画面で、カーソルをスタイルに移動させて [Enter] ボタンを押します。

Style List 画面 (CATEGORY) が表示されます。

2. [Enter] ボタンを長押しして、Style List 画面 (BANK) に切り替えます。



## バンク記号の見かた

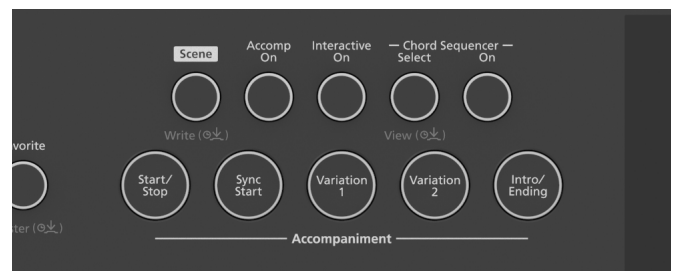
記号	説明
PR	プリセット (Preset)
PB	プリセット B (Preset B)
EXS	拡張スタイル (Style Pack)

3. [<] [>] ボタンで、バンクを選びます。
4. [A] [V] ボタンで、スタイルを選びます。
5. [Enter] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

### メモ

Style List 画面 (BANK) で [Enter] ボタンを長押しすると、Style List 画面 (CATEGORY) に切り替えることができます。

## 自動伴奏の使いかた (Accompaniment)



## スタイルを再生/停止する ([Start/Stop] ボタン)

1. [Start/Stop] ボタンを押して、点灯させます。  
選択中のバリエーション (点灯している [Variation 1] [Variation 2] ボタン) で、自動伴奏がスタートします。
2. 停止するときは、もう一度 [Start/Stop] ボタンを押して消灯させます。

## スタイルを同期再生する ([Sync Start] ボタン)

1. **[Sync Start] ボタンを押して、点灯させます。**  
シンクロ・スタート待ち状態となります。  
この状態で鍵盤を弾くと同時に自動伴奏がスタートします。
2. **シンクロ・スタートを中止するときは、もう一度 [Sync Start] ボタンを押して消灯させます。**  
[Sync Start] ボタンが消灯してシンクロ機能がオフになります。

### メモ

スタイルの再生がスタートすると、シンクロ機能が自動的にオフになります。

## バリエーションを切り替える ([Variation 1] [Variation 2] ボタン)

伴奏の雰囲気を変えます。

1. **停止中または再生中に、[Variation 1] [Variation 2] ボタンを押して点灯させます。**  
**バリエーション 1:** 落ち着いた伴奏を演奏します。  
**バリエーション 2:** 盛り上がった伴奏を演奏します。

## イントロを付ける ([Intro/Ending] ボタン)

1. **停止中に [Intro/Ending] ボタンを押します。**  
[Intro/Ending] ボタンが点滅します。
2. **[Start/Stop] ボタンを押して、自動伴奏を開始します。**  
自動伴奏がイントロ演奏からスタートします。

## エンディングを付ける ([Intro/Ending] ボタン)

1. **演奏中に [Intro/Ending] ボタンを押します。**  
自動伴奏がエンディングを鳴らして停止します。

## 自動伴奏をオン/オフする ([Accomp On] ボタン)

1. **[Accomp On] ボタンを押して、点灯させます。**  
自動伴奏がオンになり、選ばれたスタイルの伴奏パートが鳴ります。
2. **自動伴奏をオフにするときは、もう一度 [Accomp On] ボタンを押して消灯させます。**  
選ばれたスタイルのドラム・パートのみを鳴らして、他の伴奏パートは鳴らなくなります。

### メモ

[Accomp On] ボタンを長押しすると、自動伴奏の設定画面が表示されます。

## インタラクティブ機能をオン/オフする ([Interactive On] ボタン)

インタラクティブ機能を有効にすると、演奏に合わせて伴奏のアレンジや音量がリアルタイムに変化します。

1. **[Interactive On] ボタンを押して、点灯させます。**  
インタラクティブ機能がオンになります。

### メモ

- インタラクティブ機能がオンのときは、スプリット・ポイントより左側の鍵域の弾きかたに応じて伴奏が3段階（豪華、標準、シンプル）に変化します。

伴奏	スプリット・ポイントより左側の鍵域の弾きかた (リズム)
華やか (Advanced)	8分音符より細かいリズムで刻んで演奏します。
標準 (Standard)	4分音符を使ったリズムで演奏します。
シンプル (Simple)	2分音符を使ったリズムで演奏します。

- スプリット・ポイントより右側の鍵域の強弱（ペロシティー）に応じて伴奏の音量が変化します。

2. **インタラクティブ機能をオフにするときは、[Interactive On] ボタンを押して消灯させます。**

### メモ

- [Interactive On] ボタン長押しすると、インタラクティブ機能の設定画面が表示されます。  
→ 「インタラクティブ機能を設定する (Interactive Setting)」 (P.38)

## コード・パターンを選ぶ (Chord Sequencer [Select] ボタン)

→ 「コード・パターンを選ぶ」 (P.39)

## コード・シーケンサーをオン/オフする (Chord Sequencer [On] ボタン)

→ 「コード・シーケンサーをオン/オフする」 (P.39)

## 自動伴奏を設定する (Arranger Setting)

- [Menu] ボタンを押します。**  
Menu 画面が表示されます。
- [^] [v] ボタンで「Scene Edit」を選び、[Enter] ボタンを押します。**  
Scene Edit 画面が表示されます。
- [^] [v] ボタンで「Arranger Setting」を選び、[Enter] ボタンを押します。**  
Arranger Setting 画面が表示されます。

Arranger Settings	
Accomp Switch	<input checked="" type="checkbox"/>
Chord Detect	Pianist
Split Point	F#3
Bass Inversion	OFF
Arranger Hold	ON
Auto Fill In	ON
<hr/>	
Intro Type	Short
Ending Type	Short
Activity Level	2

パラメーター	設定値	説明
Bass Inversion	OFF、ON	鍵盤でコード入力をするとき、ベース転回機能をオン/オフします。 ※ 「Chord Detect」が「Easy」のときは無効です。
Arranger Hold	OFF、ON	<b>ON</b> : 鍵盤によるコード認識は次のコード認識が指示されるまで同じコードを保持しながら伴奏が鳴ります。 <b>OFF</b> : 鍵盤から指を離し、コード認識がされなくなると、ドラム・パート以外の伴奏パートが鳴らなくなります。
Auto Fill In	OFF、ON	<b>ON</b> : スタイル再生中に、[Variation 1] または [Variation 2] ボタンを押すと、バリエーションが切り替わる前にフィル・インが演奏されます。 <b>OFF</b> : バリエーションが切り替わるたびに、フィル・インは演奏されません。
Intro Type	Short、Long	イントロの長さを設定します。
Ending Type	Short、Long	エンディングの長さを設定します。
Activity Level	1 ~ 3	インタラクティブ機能の伴奏の華やかさを設定します。

- [Exit] ボタンを何度か押して、トップ画面に戻ります。**

### メモ

Arranger Setting 画面は [Accomp On] ボタンを長押しして表示させることもできます。

- [^] [v] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。**

パラメーター	設定値	説明
Accomp Switch	OFF、ON	自動伴奏機能をオン/オフします。
Chord Detect		鍵盤演奏からコードを検出する方法を設定します。
	Standard	通常のコード検出モードです。F#3 より下の鍵盤でコードを検出します。
	Intelligent	鍵盤演奏で足りないコードの構成音を、コード検出機能が補います。F#3 より下の鍵盤でコードを検出します。指 1 本または 2 本でのコード指定が可能です。
	Pianist (Single/Dualのみ)	3 音以上の鍵盤が押されたときにコードを検出します。全鍵盤で検出します。
	Pianist2 (Single/Dualのみ)	3 つ以上の鍵盤を押したときに、コードを検出します。ホールド・ペダルを踏んでいるときは、残っている音を含めてコードを検出します。ホールド・ペダルを踏んでいないときは、「Pianist」と同じ動作です。全鍵盤で検出します。
	Easy (Split/Twin Pianoのみ)	ルートの音と同時に押されている鍵盤が白鍵 (メジャー・コード) か黒鍵 (マイナー・コード) かでコードを検出します。
Split Point	B1 ~ B6	スプリットのときに、コード検出が可能となるスプリット・ポイントを設定します。

## インタラクティブ機能を設定する (Interactive Setting)

1. [Menu] ボタンを押します。  
Menu 画面が表示されます。
2. [Λ] [V] ボタンで「Scene Edit」を選び、[Enter] ボタンを押します。  
Scene Edit 画面が表示されます。
3. [Λ] [V] ボタンで「Interactive Setting」を選び、[Enter] ボタンを押します。  
Interactive Setting 画面が表示されます。

Interactive Settings	
Interactive Sw	OFF
Activity Level Ctrl Sw	ON
Volume Ctrl	ON

### メモ

Interactive Setting 画面は、[Interactive On] ボタンを長押しして表示させることもできます。

4. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

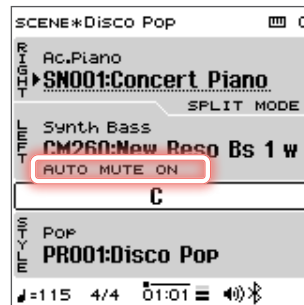
パラメーター	設定値	説明
Interactive Switch	OFF、ON	インタラクティブ・自動伴奏機能をオン/オフします。
Activity Level Ctrl Sw	OFF、ON	<b>ON</b> : 鍵盤の弾きかたによって伴奏の華やかさのアレンジ (Activity Level) が変化します。 <b>OFF</b> : 伴奏の華やかさのアレンジ (Activity Level) は変化しません。
Volume Ctrl	OFF、ON	<b>ON</b> : 鍵盤を弾く強さによって伴奏のボリュームが変化します。 <b>OFF</b> : 伴奏のボリュームは変化しません。

5. [Exit] ボタンを何度か押して、トップ画面に戻ります。

## 再生時にスプリットの左手演奏を自動でミュートする (AUTO MUTE)

鍵盤モードがスプリットで自動伴奏を再生しているとき、左手の演奏を自動でミュートすることができます。

1. トップ画面で LEFT パートのトーン名の下に表示されている「AUTO MUTE」に、カーソルを合わせます。



2. [Dec] [Inc] ボタンで、「ON」に変更します。

AUTO MUTE がオンになります。  
自動伴奏が鳴っているとき、左手パートの演奏がミュートされますが、コード認識は有効です。

# コード・シーケンサーを使う

## コード・シーケンサーをオン/オフする

コード・シーケンサーをオン/オフします。

1. Chord Sequencer [On] ボタンを押して、点灯させます。  
Chord Sequencer [On] ボタンが点灯し、コード・シーケンサーがオンになります。
2. コード・シーケンサーをオフするときは、もう一度 Chord Sequencer [On] ボタンを押して消灯させます。

## コード・パターンを選ぶ

コード・シーケンサーのコード・パターンを選びます。

1. Chord Sequencer [Select] ボタンを押して、点灯させます。  
Chord Pattern List 画面が表示されます。



2. [<] [>] ボタンでプリセットを切り替えます。

プリセット	説明
Preset A	スタイルに合ったコード・パターン
Preset B	汎用的なコード・パターン
User	ユーザーが保存したパターン

3. [^] [v] ボタンで、コード・パターンを選びます。

### メモ

[Enter] ボタンを押すと、Chord Pattern View 画面が表示されます (P.40)。

4. コード・パターンを選んだら、Chord Sequencer [Select] ボタンを押して消灯させます。

Chord Pattern List 画面が閉じます。

### メモ

Chord Sequencer [Select] ボタンを長押しすると、Chord Pattern View 画面 (P.40) が表示されます。

## スタイルに合ったコードを選ぶ

1. Chord Pattern List 画面で、「Preset A」のリストからスタイルと同じ名前のコードを選びます。

## ループ演奏される汎用コード・パターンを選ぶ

1. Chord Pattern List 画面で、「Preset B」のリストから任意のコード・パターンを選びます。

## ユーザーが保存したコード・パターンを選ぶ

1. Chord Pattern List 画面で、「User」のリストから任意のコード・パターンを選びます。

## コード・パターンを再生する

1. Chord Sequencer [On] ボタンを押して、点灯させます。
2. [Start/Stop] ボタンを押して、自動伴奏を再生します。  
コード・パターンのコードでスタイルが再生されます。  
鍵盤でのコード認識はされなくなります。

## コード・パターンを同期再生する

鍵盤を弾くと同時にコード・パターンがスタートします。

1. Chord Sequencer [On] ボタンを押して、点灯させます。
2. [Sync Start] ボタンを押して、点灯させます。  
シンクロ・スタート待ち状態となります。
3. 鍵盤を弾きます。  
コード・パターンがスタートします。

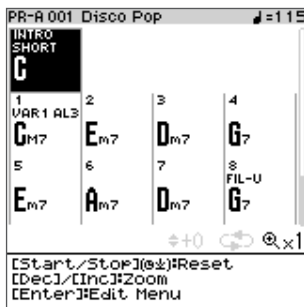


## コード・パターンの内容を確認する (Chord Pattern View 画面)

Chord Pattern View 画面では、コード・パターンの内容を確認することができます。

### 1. Chord Sequencer [Select] ボタンを長押しします。

Chord Pattern View 画面が表示されます。  
[Dec] [Inc] ボタンを押すと、表示する小節数を変えることができます。



[Dec] [Inc] ボタンで画面の拡大、縮小（ズーム）ができます。  
停止中は、[Λ] [V] [<] [>] ボタンでポジションを移動することができます。

#### メモ

この画面で [Enter] ボタンを押すと、Edit Menu が表示されます。  
詳しくは「コード・パターンをエディットする (Edit Menu)」(P.40) をご覧ください。

### 2. [Exit] ボタンを押して、元の画面に戻ります。

## 任意の小節からコード・パターンを再生する

### 1. 停止中に Chord Pattern View 画面で、[Λ] [V] [<] [>] ボタンで任意の小節を選びます。

再生を開始する小節を先頭に戻すには、[Start/Stop] ボタンを長押しします。再生中/停止中どちらでもできます。

### 2. コード・パターンを再生します。

## コード・パターンをエディットする (Edit Menu)

### 1. Chord Sequencer [Select] ボタンを長押しします。

Chord Pattern View 画面が表示されます。

### 2. [Enter] ボタンを押します。

Edit Menu が表示されます。

### 3. [Λ] [V] ボタンで項目を選び、[Enter] ボタンを押します。

項目 (Edit Menu)	説明
Write (Chord Pattern Write)	コード・パターンを User Pattern として保存します。
Chord (Chord Edit)	コードに関する設定をします。
Variation (Variation Edit)	Variation、Activity Level を設定します。
Intro/Ending/Loop	Intro、Ending、Loop に関する設定をします。
Measure	小節に関する設定をします。
Undo/Redo	直前の操作を取り消して、1 つ前の状態に戻ります。
Transpose	トランスポーズを設定します。
Initialize Pattern	パターンを初期化します。

## コード・パターンを保存する (Chord Pattern Write)

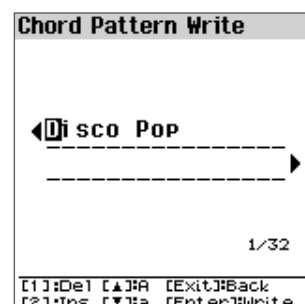
### 1. Edit Menu で [Write] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Chord Pattern Write 画面が表示されます。



### 2. [Λ] [V] ボタンで保存先 (Write Destination) を選び、[Enter] ボタンを押します。

Rename 画面が表示されます。



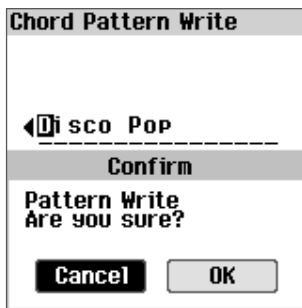


## Rename 画面の操作

操作子	説明
[<] [>] ボタン	カーソルを移動します。
[^] [v] ボタン	大文字、小文字を切り替えます。
[Dec] [Inc] ボタン	文字を変更します。
[1] ([Piano]) ボタン	1 文字削除します。
[2] ([E.Piano]) ボタン	1 文字挿入します。
[Exit] ボタン	編集中の名前を記憶して Destination 選択画面に戻ります。
[Enter] ボタン	確認画面が表示されます。

### 3. パターン名が決まったら、[Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

### 4. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

保存が終了すると「Completed!」と表示され、元の画面に戻ります。

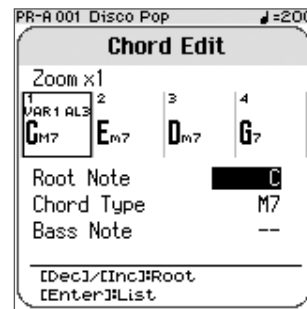
## コードの設定をする (Chord Edit)

### 1. Edit Menu で「Chord」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Chord Edit 画面が表示されます。

#### メモ

この画面で自動伴奏を再生すると表示範囲をループ再生します。



### 2. [^] [v] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンや鍵盤で値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Zoom	x1, x2, x4	カーソルが小節を選んでいるときに、[Dec] [Inc] ボタンで小節の表示倍率を変更します。
Chord	(鍵盤でコードを押さえる)	カーソルが小節を選んでいるときに、鍵盤でコード入力します。
Root Note	-- (*1)、C ~ B	[Dec] [Inc] ボタンや鍵盤で Root Note を設定します。Chord Type、Bass Note は変更されません。
Chord Type	-- (*1)、(空白) (*2)、m、7、m7b5、dim、dim7、aug、aug7、sus4、7sus4、add9、madd9、6、69、m6、m69、m11、m13、M7、m7、mM7、mM9、M9、m9、9、7b5、7b9、7#9、7#11、13、7b13	[Dec] [Inc] ボタンや鍵盤で Chord Type を設定します。Root Note、Bass Note は変更されません。
Bass Note	-- (*1)、C ~ B	[Dec] [Inc] ボタンや鍵盤で Bass Note を設定します。Root Note、Chord Type は変更されません。

\*1 「-」を選ぶと、未設定になります。

\*2 「(空白)」を選ぶと、メジャー・コードになります。「C (空白)」→「C」

### 3. [Exit] ボタンを押して、元の画面に戻ります。

## バリエーションの設定をする (Variation Edit)

1. Edit Menu で「Variation」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Variation Edit 画面が表示されます。

### メモ

この画面で自動伴奏を再生すると表示範囲をループ再生します。



2. [Λ] [v] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Zoom	x1、x2、x4	カーソルが小節を選んでいるときに、小節の表示倍率を変更します。
Variation	Variation 1、Variation 2、Fill Down、Fill Up	Variation を変更します。
Activity Level	1、2、3	Activity Level を変更します。

3. 設定が終わったら、[Enter] ボタンを押します。

## Intro、Ending、Loop に関する設定をする (Intro/Ending/Loop)

1. Edit Menu で「Intro/Ending/Loop」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Intro/Ending/Loop 画面が表示されます。



2. [Λ] [v] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Loop	OFF、ON	ループのオン/オフを変更します。
Intro	OFF、ON	イントロのオン/オフを変更します。
Intro Type	Short、Long	Intro Type を変更します。
Ending	OFF、ON	エンディングのオン/オフを変更します。
Ending Type	Short、Long	Ending Type を変更します。

### 注意

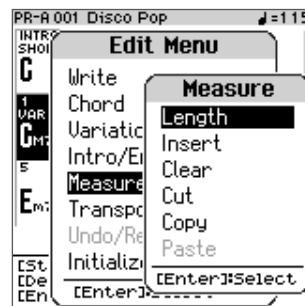
Ending が「ON」のときは、Loop が「OFF」になります。Loop を「ON」にするときは、先に Ending を「OFF」にしてください。

3. [Exit] ボタンを押して、元の画面に戻ります。

## 小節に関する設定をする (Measure)

1. Edit Menu で「Measure」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Measure 画面が表示されます。



2. [Λ] [v] ボタンで設定したい項目を選び、[Enter] ボタンを押します。

### Length (Change Length)

パターンの小節数を設定します。

項目	設定値	説明
Total Length	1、2、3、… 255、256	パターン全体の長さを設定します。

### Insert (Insert Measure)

指定した位置に空の小節を挿入します。

項目	設定値	説明
Insert Position	[Λ] [v] ボタン 1 ~ Last	小節を挿入する位置を指定します。
Measure Length	[Dec] [Inc] ボタン 1、2、3、… 255、256	挿入する小節数を設定します。

## Clear (Clear Measure)

選んだ範囲の小節を消去します。

項目 [A] [V] ボタン	設定値 [Dec] [Inc] ボタン	説明
Start Position	1～現在のパターンの最大小節	消去する小節の範囲を指定します。実行すると、Start Position から
End Position	1～現在のパターンの最大小節	End Position までの小節が消去されます。
Target	Chord、Variation、All	消去する対象を選びます。

## Cut (Cut Measure)

選んだ範囲の小節を切り取ります。

項目 [A] [V] ボタン	設定値 [Dec] [Inc] ボタン	説明
Start Position	1～現在のパターンの最大小節	切り取る小節の範囲を指定します。実行すると、Start Position から
End Position	1～現在のパターンの最大小節	End Position までの小節が切り取られます。

## Copy (Copy Measure)

選んだ範囲の小節をコピーします。

項目 [A] [V] ボタン	設定値 [Dec] [Inc] ボタン	説明
Start Position	1～現在のパターンの最大小節	コピーする小節の範囲を指定します。実行すると、Start Position から
End Position	1～現在のパターンの最大小節	End Position までの小節がコピーされます。

## Paste (Paste Measure)

Cut / Copy した小節を、指定した位置に貼り付けます。Cut / Copy した小節の長さによって、挿入、上書きされる小節の長さは変わります。

### メモ

Paste が実行できないときは、「Paste」が薄い文字で表示されます。

項目 [A] [V] ボタン	設定値 [Dec] [Inc] ボタン	説明
Paste Position	1～Last	小節を貼り付ける位置を指定します。
Paste Mode	Insert	Cut / Copy した小節が Paste Position に途中挿入され、以降の小節はうしろにずれます。
	Overwrite	Cut / Copy した小節が Paste Position に上書きされます。以前のデータは失われます。
Repeat Count	1、2、3、～63、64	貼り付けの繰り返し回数を設定します。たとえば挿入で Cut / Copy した小節が 4 小節の場合、Repeat Count を 2 に設定すると、4 小節を 2 回繰り返して 8 小節分が挿入されます。

- [A] [V] ボタンで「EXECUTE」を選び、[Enter] ボタンを押します。
- [Exit] ボタンを押して、元の画面に戻ります。

## 編集を取り消す (Undo/Redo)

編集の操作を取り消して、1 つ前の状態に戻すことができます (アンドゥ)。また、アンドゥ操作を取り消すことができます (リドゥ)。

### メモ

Edit Menu には、「Undo」か「Redo」のうちで実行可能な項目が表示されます。どちらも実行できないときは、「Undo/Redo」がグレー表示されます。

### 編集を取り消す (Undo)

- エディット画面で [Exit] ボタンを押して、Edit Menu に戻ります。
- Edit Menu で「Undo」を選び、[Enter] ボタンを押します。  
直前の編集を取り消して、1 つ前の状態に戻ります。

### アンドゥ操作を取り消す (Redo)

- アンドゥを実行した直後に Edit Menu で「Redo」を選び、[Enter] ボタンを押します。  
アンドゥ操作を取り消して、元の状態に戻ります。

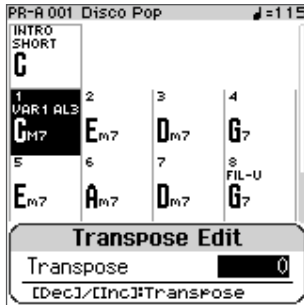
### メモ

アンドゥを実行したあとに編集すると、リドゥはできなくなります。

## パターンのトランスポーズを設定する (Transpose)

1. Edit Menu で「Transpose」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Transpose 画面が表示されます。



2. [Dec] [Inc] ボタンでトランスポーズ量を設定します。

パラメーター	設定値	説明
Transpose	-11 ~ 0 ~ +11	半音単位でコード・パターンを移調します。

3. [Exit] ボタンを押して、元の画面に戻ります。

## パターンの初期化をする (Initialize Pattern)

1. Edit Menu で「Initialize Pattern」を選び、[Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



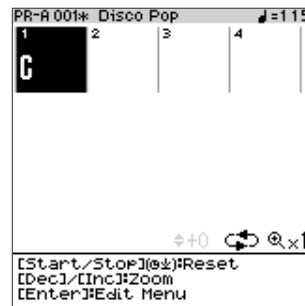
中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

2. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

保存が終了すると「Completed!」と表示され、元の画面に戻ります。

### メモ

パターンを初期化すると、4小節のパターンになります。



小節数の変えかたについては、「小節に関する設定をする (Measure)」(P.42) をご覧ください。

## マイクを使う

---

マイク・エフェクトを使う .....	<b>46</b>
マイク・エフェクトをオン／オフする (Mic FX) .....	46
マイク・エフェクトを設定する (Mic Setting) .....	46

# マイク・エフェクトを使う

## マイク・エフェクトをオン/オフする (Mic FX)

1. マイクを Mic Input 端子に接続します。



2. トップ・パネルの Level [Mic] スライダーで、マイク音量を調節します。

マイクの音が小さすぎたり歪んだりする場合は、リア・パネルの [Gain] つまみを回して音量を調節します。

3. [Mic FX] ボタンを押します。

マイク・エフェクトがオンになり、[Mic FX] ボタンが点灯します。マイクで声を入力するとハーモナイザーなどを楽しむことができます。

## マイク・エフェクトを設定する (Mic Setting)

1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

2. [A] [V] ボタンで [Scene Edit] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Scene Edit 画面が表示されます。

3. [A] [V] ボタンで [Mic Setting] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Mic Setting 画面が表示されます。

Mic Settings	
Mic FX Type	Harmony
Mic FX Switch	OFF
Mic Ambience Send	6
Type	Duet High Close
Harmony Level	6
Direct Level	10
Chorus Send	5
Compressor	
Switch	OFF
Type	Normal

### メモ

[Mic FX] ボタンを長押しして、Mic Setting 画面を表示することもできます。

4. [A] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

Mic FX Type の設定によってパラメーターが変化します。

## 共通パラメーター

パラメーター	設定値	説明
Mic FX Type	Harmony	→ [Harmony (ハーモニー)] (P.46)
	Voice Transformer	→ [Voice Transformer (ボイス・トランスフォーマー)] (P.47)
	Vocal Designer	→ [Vocal Designer (ボーカル・デザイナー)] (P.47)
Mic FX Switch	OFF、ON	選択中の FX TYPE をオン/オフします。
Mic Ambience Send	0 ~ 10	アンビエンスへのセンド量を調節します。 ※ [Ambience] ボタン長押しで表示される Ambience Setting 画面内の [Mic Ambience Send] パラメーター (P.28) と共通の設定です。

パラメーター	設定値	説明
Compressor		
Switch	OFF、ON	コンプレッサーのオン/オフを設定します。
Type	Soft、Normal、Hard	入力音に対して、レベルを抑える効果の大きさを設定します。Soft、Normal、Hard の順で効果が大きくなります。
Noise Suppressor		
Switch	OFF、ON	ノイズ・サプレッサーのオン、オフを設定します。ノイズ・サプレッサーは無音時のノイズを抑える機能です。
Threshold	-96 ~ 0 [dB]	ノイズを抑え始める音量を調節します。

## Harmony (ハーモニー)

マイクの声に自然なハーモニー (ハモリ) を付けられます。

コード・パターンや演奏したコードを元に、最適なハーモニーを作りだします。

パラメーター	設定値	説明
Type	Duet High Close	原音の上に近い音程で 1 音加えます。
	Duet High Open	原音の上に離れた音程で 1 音加えます。
	Duet Low Close	原音の下に近い音程で 1 音加えます。
	Duet Low Open	原音の下に離れた音程で 1 音加えます。
	Trio	原音に近い音程で上に 1 音、下に 1 音加えます。
	Quintet	原音の上に 2 音、下に 2 音加えます。
	Combo	原音の上に 2 音加えます。
	Block	原音の上に 3 音加えます。
Classic	原音の上に 2 音または 3 音加えます。	
Harmony Level	0 ~ 10	ハーモニーの音量を調節します。
Direct Level	0 ~ 10	原音 (Mic FX のかかっていない音) の音量を調節します。
Chorus Send	0 ~ 10	コーラスへのセンド量を調節します。

## Voice Transformer (ボイス・トランスフォーマー)

マイクの声の高さを変えたり、声質を変化させたりすることができます。

パラメーター	設定値	説明
Pitch	-1、0、+1 [octave]	声のピッチを調節します。上下1オクターブの範囲で変化させることができます。
Formant	-12 ~ +12 [semitones]	声のフォルマントを調節します。 - (マイナス) にするほど男性的な声質に、+ (プラス) にするほど女性的な声質に変化します。
Robot Switch	OFF、ON	ロボットのような、一定のピッチ (音の高さ) に固定された抑揚のない声に変化します。
Harmony Switch	OFF、ON	ハーモニーをオン/オフします。
Harmony Type	Duet High Close	原音の上に近い音程で1音加えます。
	Duet High Open	原音の上に離れた音程で1音加えます。
	Duet Low Close	原音の下に近い音程で1音加えます。
	Duet Low Open	原音の下に離れた音程で1音加えます。
	Trio	原音に近い音程で上に1音、下に1音加えます。
	Combo	原音の上に2音加えます。
	Block	原音の上に3音加えます。
	Classic	原音の上に2音または3音加えます。
Harmony Level	0 ~ 10	ハーモニーの音量を調節します。
Direct Level	0 ~ 10	原音 (Mic FX のかかっていない音) の音量を調節します。
Chorus Send	0 ~ 10	コーラスへのセンド量を調節します。

## Vocal Designer (ボーカル・デザイナー)

「ボーカル・デザイナー」は、人の声にかかるエフェクトです。ピッチは鍵盤を弾いてコントロールします。

パラメーター	設定値	説明
Carrier Tone	0001 ~ 0026	→ 「Carrier Tone (キャリア・トーン) 一覧」
Type	Stereo	ステレオで出力します。
	Vintage	ビンテージ・サウンドを再現して出力します。
	Mono	モノで出力します。
Direct Level	0 ~ 10	原音 (Mic FX のかかっていない音) の音量を調節します。
Chorus Send	0 ~ 10	コーラスへのセンド量を調節します。

## Carrier Tone (キャリア・トーン) 一覧

No.	Carrier トーン名	No.	Carrier トーン名
0001	Classic A	0014	BackGround 3
0002	Classic B	0015	BackGround 4
0003	Classic C	0016	BackGround 5
0004	Male&Fem 1	0017	Modern Voc 1
0005	Male&Fem 2	0018	Modern Voc 2
0006	Gospel A	0019	Modern Voc 3
0007	Gospel B	0020	Vocoder 1
0008	Gospel C	0021	Vocoder 2
0009	Pop A	0022	Vintage 1
0010	Pop B	0023	Vintage 2
0011	Pop C	0024	WahVox (KBD)
0012	BackGround 1	0025	WahVox (VEXD)
0013	BackGround 2	0026	WahVox (CTRL)

## ソングを再生／録音する

---

### ソングを再生する (Song Player) . . . . . **49**

内蔵曲を再生する . . . . .	49
内蔵曲に対応したシーンに切り替える . . . . .	49
録音した曲を再生する . . . . .	49
ソングを削除する . . . . .	49
ソングの再生位置を変更する . . . . .	50
ソングのループ設定を変更する . . . . .	50

### 演奏を録音する (Audio Rec) . . . . . **51**

録音の準備をする . . . . .	51
録音する . . . . .	51
録音した演奏を聴く . . . . .	51
録音した演奏を消す . . . . .	52
センター・キャンセルした音源を録音する . . . . .	52

### 便利な機能 (Song Utility) . . . . . **53**

ソング名を変更する (Song Rename) . . . . .	53
録音したソングを USB メモリーにコピーする (Song Copy) . . . . .	54
複数のソングを選んで削除する (Song Delete) . . . . .	54
録音したすべてのソングを削除する (Song Delete All) . . . . .	55

### デモ・モード . . . . . **56**



# ソングを再生する (Song Player)

## 内蔵曲を再生する

ソングを選んで再生します。

1. [Song] ボタンを押します。



Song 画面が表示されます。

2. [<] [>] ボタンで「Preset」を選びます。



Preset  
内蔵曲

Internal Memory  
本体メモリーに録音したソング

USB Memory  
USB メモリーに保存されているソング

3. [Λ] [V] ボタンで、ソングを選びます。

[Dec] [Inc] ボタンでソングを選ぶこともできます。

4. [▶/■] ボタンを押します。

選んだソングが再生されます。

5. 停止するときには、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

### [▶/■] ボタン

ソングを再生/停止します。

#### メモ

[▶/■] ボタンを長押しするとソングの先頭に戻ります。



### [<</>>] ボタン

ソング・ポジション・ウィンドウを表示します。

→ 「ソングの再生位置を変更する」(P.50)

### [●] ボタン

Recording Standby ウィンドウを表示します。

→ 「演奏を録音する (Audio Rec)」(P.51)

## 内蔵曲に対応したシーンに切り替える

1. Song 画面で、[<] [>] ボタンを使って「Preset」を選びます。

2. [Λ] [V] ボタンで内蔵曲を選び、[Scene] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

中止するときには、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

3. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

選んでいる内蔵曲に対応したシーンが読み込まれます。

#### メモ

内蔵曲の楽譜を巻末に掲載しています。

## 録音した曲を再生する

1. Song 画面で、[<] [>] ボタンを使って「Internal Memory」を選びます。

「USB Memory」を選ぶと USB メモリーに保存されているソングを選ぶことができます。

2. [Λ] [V] ボタンで、ソングを選びます。

[Dec] [Inc] ボタンでソングを選ぶこともできます。

3. [▶/■] ボタンを押します。

選んだソングを再生します。

## ソングを削除する

1. Song 画面で、[<] [>] ボタンを使って「Internal Memory」を選びます。

「USB Memory」を選ぶと USB メモリーに保存されているソングを削除することができます。

2. [Λ] [V] ボタンで削除したいソングを選び、[Enter] ボタンを長押しします。

確認画面が表示されます。

中止するときには、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

3. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

#### メモ

複数のソングをまとめて削除することもできます。

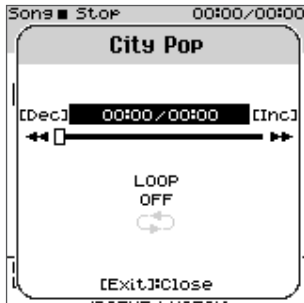
→ 「複数のソングを選んで削除する (Song Delete)」(P.54)

## ソングの再生位置を変更する

ソングの再生位置を変更します。

1. Song 画面で、[◀▶] ボタンを押します。

ソング・ポジション・ウィンドウが開きます。



2. [↵] [v] ボタンで、再生位置（上段）にカーソルを合わせます。
3. [Dec] [Inc] ボタンで、再生位置を変更します。
4. [Exit] ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。

## ソングのループ設定を変更する

ソングのループ再生を設定します。

1. Song 画面で、[◀▶] ボタンを押します。  
ソング・ポジション・ウィンドウが開きます。
2. [↵] [v] ボタンで、ループ設定（下段）にカーソルを合わせます。
3. [Dec] [Inc] ボタンで、設定値を変更します。

設定値	説明
OFF	ループ再生しません。
ALL	同一フォルダー内のすべての曲をループ再生します。
SINGLE	1 曲のみ繰り返します。

4. [Exit] ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。

# 演奏を録音する (Audio Rec)

FP-E50 では、演奏を簡単に録音することができます。

録音した演奏に自分の演奏を重ねて録音することもできるので、以下のような順番で録音していくと、両手の演奏や歌いながらの演奏に自信のないかたでも 1 曲仕上げるすることができます。

1. 自動伴奏の演奏を録音
2. ピアノ左手の演奏を録音
3. ピアノ右手の演奏を録音
4. ボーカルを録音

また、WAV 形式のオーディオ・ファイル (ソング) として保存されるため、パソコンで再生したり、インターネット上に公開したりするなど、さまざまな楽しみかたが広がります。

## 注意

パンチイン/アウト録音には対応していません。

ソングをバックアップ演奏として自分の演奏を重ねて録音する場合は、録音する前にソングの再生位置を先頭に設定してください。また録音開始後は自分の演奏のタイミングが終わったあとソングの最後まで鳴らし終えてから録音を停止してください。

## 録音の準備をする

### 1. 演奏設定をします。

- 「シーンを選ぶ (Scene Select)」 (P.26)
- 「トーンを選ぶ (Tone Select)」 (P.19)
- 「スタイルを選ぶ」 (P.35)
- 「マイク・エフェクトを使う」 (P.46)

## メモ

ソングを鳴らしながら演奏を重ねて録音する場合は、Song 画面で一緒に録音したいソングを選びます。

- 「ソングを再生する (Song Player)」 (P.49)

## 録音する

### 1. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

Recording Standby ウィンドウが開きます。

Recording Mode が NEW のとき



Recording Mode が OVERDUB のとき



録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

## 注意

録音スタンバイ、および録音中は、絶対に電源を切ったり USB メモリーを抜いたりしないでください。

### 2. 録音スタンバイ・ウィンドウで、録音設定をします。

パラメーター	設定値	説明
Name		録音後にできるソング名を表示します。
[RENAME] ボタン		Rename ウィンドウが開きます。Name 欄に表示されているファイル名を変更することができます。
Recording Mode	NEW	新規録音をするときに選びます。
	OVERDUB	別のソングを鳴らしながら重ねて録音するときに選びます。再生するソングが選ばれているときのみ選べます。
Backing File		一緒に録音するソングの保存先とファイル名を表示します。この画面ではソングを変えられません。一緒に録音したいソングは Song 画面で選んでください。 ※ [Recording Mode] が [OVERDUB] のときのみ表示されます。

## メモ

必要に応じてメトロノームを鳴らすことができます。

### 3. [▶/■] ボタンを押します。

録音が始まります。

録音が始まると、[●] ボタンと [▶/■] ボタンが点灯します。

## メモ

[▶/■] ボタンを押す代わりに、鍵盤の演奏や自動伴奏をスタートさせても録音が始まります。

録音中も「シーンの変更」「スタイルの変更」「トーンの変更」「パリエーションの変更」などの操作が可能です。

### 4. 演奏します。

### 5. 録音を終了するときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

録音が停止し、ソングが保存されます。

## メモ

自動伴奏の演奏を録音する場合は、演奏が終わったあとの音の余韻がなくなることを確認してから録音を停止することをおすすめします。

## 録音した演奏を聴く

### 1. Song 画面で、録音した曲を選びます。

## メモ

録音直後は録音した曲が選ばれています。

### 2. [▶/■] ボタンを押します。

録音した演奏の先頭から再生が始まります。

## 録音した演奏を消す

### 1. Song 画面で、録音した曲を選びます。

#### メモ

録音直後は、録音した曲が選ばれています。

### 2. [Enter] ボタンを長押しします。

確認画面が表示されます。

中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

### 3. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

曲が削除されます。

#### メモ

Song Utility - Delete 画面では、複数選んだ曲を同時に消すことができます。

## センター・キャンセルした音源を録音する

Input 端子からの入力、Bluetooth オーディオ、再生中のソングに、センター・キャンセルをかけながら録音することができます。

### 1. センター・キャンセルをかける音源を準備します。

- 「入力したオーディオの音量を調節する (Input Volume)」 (P.60)
- 「ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす (Bluetooth 機能)」 (P.31)
- 「ソングを再生する (Song Player)」 (P.49)

### 2. [Center Cancel] ボタンを押して、点灯させます。

センター・キャンセルがオンになります。

### 3. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

### 4. 録音スタンバイ・ウィンドウで、録音設定をします。

→ 「録音する」 (P.51)

### 5. [▶/■] ボタンを押します。

録音が始まります。

### 6. 演奏します。

### 7. 録音を終了するときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

録音が停止し、ソングが保存されます。

### 8. [Center Cancel] ボタンを押して、消灯させます。

#### 注意

センター・キャンセルをかけて録音したソングは、センター・キャンセルがオンのまま再生すると、センター・キャンセルが重複してかかってしまいます。

# 便利な機能 (Song Utility)

ソングの名前を変更や、ソング・データのコピーや削除をします。

## 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

## 2. [Λ] [v] ボタンで「Song Utility」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Song Utility 画面が表示されます。



## 3. [Λ] [v] ボタンで項目を選び、[Enter] ボタンを押します。

### Song Rename

→ 「ソング名を変更する (Song Rename)」 (P.53)

### Song Copy

→ 「録音したソングを USB メモリーにコピーする (Song Copy)」 (P.54)

### Song Delete

→ 「複数のソングを選んで削除する (Song Delete)」 (P.54)

### Song Delete All

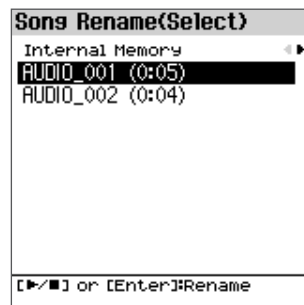
→ 「録音したすべてのソングを削除する (Song Delete All)」 (P.55)

## ソング名を変更する (Song Rename)

保存したソングの名前を変更することができます。

## 1. Song Utility 画面で [Λ] [v] ボタンを使って「Song Rename」を選び、[Enter] ボタンを押します。

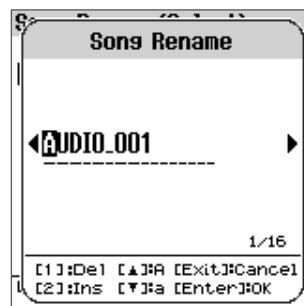
Song Rename (Select) 画面が表示されます。



## 2. [Λ] [v] [<] [>] ボタンと [Dec] [Inc] ボタンで、ソングを選びます。

## 3. [Enter] ボタンを押します。

Song Rename ウィンドウが表示されます。



## 4. 名前を変更します。

操作子	説明
[<] [>] ボタン	カーソルを移動します。
[Dec] [Inc] ボタン	文字を変更します。
[Exit] ボタン	キャンセルして前の画面に戻ります。

## 5. [Enter] ボタンを押します。

名前が変更されます。

### 注意

画面に「Executing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

## 録音したソングをUSBメモリーにコピーする (Song Copy)

内部メモリーに保存されているソングを USB メモリーにコピーします。または USB メモリーに保存されているソングを内部メモリーにコピーします。

### 注意

USB メモリーを USB Memory 端子に接続していない場合は、この操作はできません。

1. Song Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Song Copy] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Song Copy (Source Select) 画面が表示されます。



2. [Λ] [V] [<] [>] ボタンと [Dec] [Inc] ボタンで、コピー元のソングを選びます。

中止するときは [Exit] ボタンを押します。

コピー元	コピー先
USB メモリー	Internal メモリー (ルート)
Internal メモリー	USB メモリー (カレント・フォルダー) ※ 電源を入れてから USB メモリーにアクセスしていないときは、ルートが選ばれます。

3. [Enter] ボタンを押します。

コピーが実行されます。

### 注意

画面に [Executing...] と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

### メモ

すでに同じファイル名のソングが保存されているときは、「Overwrite?」と確認のメッセージが表示されます。

ソングを上書きするときは [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。

## 複数のソングを選んで削除する (Song Delete)

内部メモリーまたは USB メモリーに保存したソングを削除することができます。

### メモ

USB メモリーのソングを削除する場合は、あらかじめ USB メモリーを USB Memory 端子に接続してください。

Song 画面で [Enter] ボタンを長押しして、ソングを削除することもできます。

1. Song Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Song Delete] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Song Delete 画面が表示されます。

2. [Λ] [V] ボタンで削除したいソングを選び、[1] ([Piano]) ~ [5] ([Other]) ボタンを使ってチェック・マークを付けます。



操作子	説明
[1] Mark-	マークをはずして次のソングを選びます。
[2] Mark+	マークを付けて次のソングを選びます。
[3] Clear All	フォルダー内にあるすべてのソングのマークをはずします。
[4] Mark All	フォルダー内にあるすべてのソングにマークを付けます。
[5] Mark Toggle	マークのあり/なしを切り替えます。

※フォルダーを移動すると、付けたマークはすべてはずれます。

3. [Enter] ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。

中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

4. [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。

削除が実行されます。

### 注意

画面に [Executing...] と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

## 録音したすべてのソングを削除する (Song Delete All)

内部メモリーに保存したソングをすべて削除することができます。

1. Song Utility 画面で [▲] [▼] ボタンを使って「Song Delete All」を選び、[Enter] ボタンを押します。  
確認画面が表示されます。  
中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。
2. [◀] [▶] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

### 注意

画面に「Executing...」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

# デモ・モード

## 1. [Song] ボタンを長押しします。

Demo 画面が表示され、デモ・ソングが自動で再生されます。  
デモ・ソングはループ再生されます。



## 2. デモ・モードを終了するときは、[Exit] ボタンを押します。

### メモ

画面に表示されている2次元コードをスマートフォンなどで読み込むと、製品情報が表示されます。製品情報を表示するためには、スマートフォンなどの機器がインターネットに接続されている必要があります。



## センター・キャンセル

---

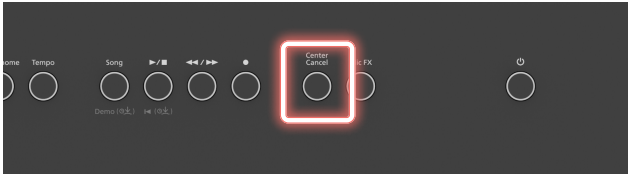
センター・キャンセルを使う (Center Cancel) .....	<b>58</b>
センター・キャンセルをオン／オフする.....	58
スマートフォンの音楽にセンター・キャンセルを使う.....	58

# センター・キャンセルを使う (Center Cancel)

Input 端子からの入力、Bluetooth オーディオ、再生中のソングにセンター・キャンセルをかけることができます。

## センター・キャンセルをオン/オフする

1. [Center Cancel] ボタンを押します。



[Center Cancel] ボタンが点灯し、センター・キャンセルがオンになります。

2. センター・キャンセルをオフにするときは、もう一度 [Center Cancel] ボタンを押します。

[Center Cancel] ボタンを押すたびにセンター・キャンセルのオン/オフが切り替わります。

### 注意

センター・キャンセルをかけて録音したソングは、センター・キャンセルがオンのまま再生すると、センター・キャンセルが重複してかかってしまいます。

## スマートフォンの音楽にセンター・キャンセルを使う

### ボーカルを消した音楽に鍵盤演奏を重ねて楽しむ

スマートフォンの音楽からボーカルを消し、そこに自分の鍵盤演奏を重ねて楽しむことができます。



1. スマートフォンと Input Stereo 端子をオーディオ・ケーブルで接続します。

Bluetooth Audio で接続することもできます。

2. スマートフォンで音楽を流しながらスマートフォンを操作して、音量を調節します。

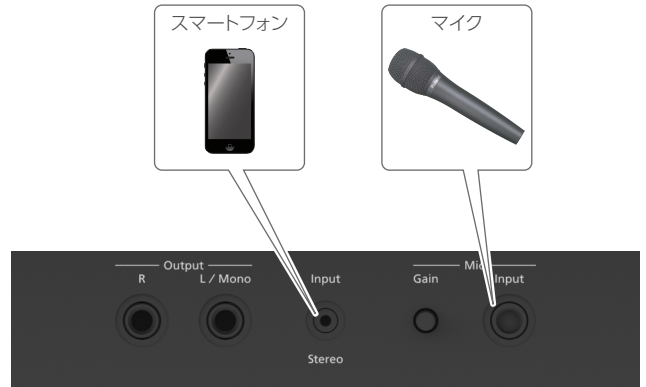
### メモ

Input Volume 画面で音量を調節することもできます。

→ 「入力したオーディオの音量を調節する (Input Volume)」 (P.60)

3. [Center Cancel] ボタンを押して、点灯させます。  
センター・キャンセルがオンになります。
4. 鍵盤演奏します。

### カラオケを楽しむ



1. マイクを Mic Input 端子に接続します。
2. リア・パネルの [Gain] つまみとトップ・パネルの Level [Mic] スライダーで、マイク音量を調節します。
3. スマートフォンと Input Stereo 端子を、オーディオ・ケーブルで接続します。  
Bluetooth Audio で接続することもできます。
4. スマートフォンで音楽を流しながらスマートフォンを操作して、音量を調節します。

### メモ

Input Volume 画面で音量を調節することもできます。

→ 「入力したオーディオの音量を調節する (Input Volume)」 (P.60)

5. [Center Cancel] ボタンを押して、点灯させます。  
センター・キャンセルがオンになります。
6. 接続したマイクで歌います。

ボーカルが消えた演奏に合わせてカラオケを楽しむことができます。

## さまざまな機能 (Menu)

---

入力したオーディオの音量を調節する (Input Volume) . . . . . **60**

自分だけのピアノ音色を作る (Piano Designer) . . . . . **61**

ピアノ・デザイナーとは . . . . . 61  
ピアノ音色を作る . . . . . 61

シーンを編集する (Scene Edit) . . . . . **62**

全体を設定する (Scene (Common)) . . . . . 62  
調律法を変える (Scale Tuning) . . . . . 63  
ホイールに機能を割り当てる (Wheel Setting) . . . . . 64  
ペダルに機能を割り当てる (Pedal Setting) . . . . . 65  
MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI Setting) . . . . . 66

システム設定をする (System) . . . . . **67**

全体を設定する (General) . . . . . 67  
音の鳴りかたに関する設定をする (Sound) . . . . . 68  
音質を調節する (Equalizer) . . . . . 68  
システム設定を保存する (System Write) . . . . . 69

便利な機能 (Utility) . . . . . **70**

工場出荷時の設定に戻す (Factory Reset) . . . . . 70  
本体の設定を USB メモリーにバックアップする (Backup) . . . . . 71  
バックアップ・ファイルを本体に読み込む (Restore) . . . . . 71  
インポート／エクスポートする (Import/Export) . . . . . 72  
USB メモリーを初期化する (Format USB Memory) . . . . . 76

プログラムのバージョン情報を表示する (Information) . . . . . **77**

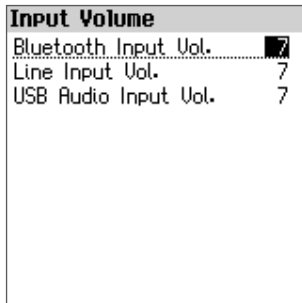
# 入力したオーディオの音量を調節する (Input Volume)

## 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

## 2. [Λ] [V] ボタンで「Input Volume」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Input Volume 画面が表示されます。



Input Volume	
Bluetooth Input Vol.	7
Line Input Vol.	7
USB Audio Input Vol.	7

## 3. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Bluetooth Input Vol.	0 ~ 10	Bluetooth オーディオの入力レベルを調節します。
Line Input Vol.	0 ~ 10	Line Input 端子からのオーディオ入力のレベルを調節します。
USB Audio Input Vol.	0 ~ 10	USB オーディオの入力レベルを調節します。

### メモ

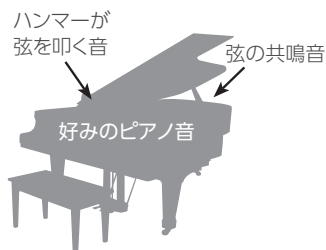
「Bluetooth Input Vol.」パラメーターのみ、設定が自動で保存されます。

# 自分だけのピアノ音色を作る (Piano Designer)

## ピアノ・デザイナーとは

本機では、ピアノの弦、ペダルなどの共鳴音や、ハンマーが弦を叩く音など、ピアノのさまざまな音の要素を調節することにより、好みのピアノの音を作ることができます。

この機能を、「ピアノ・デザイナー」といいます。



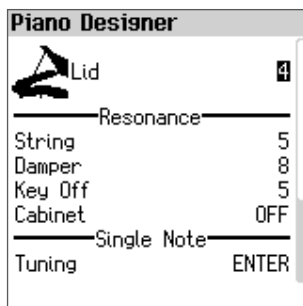
## ピアノ音色を作る

### 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

### 2. [Λ] [V] ボタンで「Piano Designer」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Piano Designer 画面が表示されます。



### 3. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Lid	0 ~ 6	グランドピアノの大屋根の開き具合を調節します。ディスプレイ上のピアノの大屋根が閉じていくほど、柔らかい音になります。また、ディスプレイ上のピアノの大屋根が開いていくほど明るい音になります。
String Resonance	0 ~ 10	アコースティック・ピアノの弦共鳴 (鍵盤を弾いたときに、すでに押さえている鍵の弦が共鳴する音) を調節します。値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。
Damper Resonance	0 ~ 10	アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルを踏んだときの、ピアノ全体のレゾナンス (弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音や、本体全体に共鳴する音) を調節します。値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。

パラメーター	設定値	説明
Key Off Resonance	0 ~ 10	アコースティック・ピアノのキー・オフ音 (鍵盤を離したときの微妙な音) などの共鳴音を調節します。値が大きくなるほど減衰時の音質変化が大きくなります。
Cabinet Resonance	0 ~ 10	グランドピアノ本体の箱鳴り感を調節します。値が大きくなるほど、箱鳴りが大きくなります。
Single Note Tuning	-50 ~ 0 ~ +50	1 鍵ごとのピッチを調節できます。値が大きくなるほどピッチが高くなります。高音域はより高く、低音域はより低いピアノ独特の調律手法 (ストレッチ・チューニング) の設定になります。
Single Note Volume	-50 ~ 0	1 鍵ごとの音量を調節できます。値が大きくなるほど音量が大きくなります。
Single Note Character	-5 ~ 0 ~ +5	1 鍵ごとの音色を調節できます。値が大きいほど硬い音になり、小さくすると柔らかい音になります。
Reset Setting		選んでいる音色のピアノ・デザイナーの設定を、工場出荷時の値に戻すことができます。

### 4. 設定が終わったら [Exit] ボタンを押します。

変更があるときは、確認画面が表示されます。

中止するときは、「[No]」を選び [Enter] ボタンを押します。

### 5. [←] [→] ボタンで「Yes」を選び、[Enter] ボタンを押します。

保存が終了すると「Completed!」と表示され、Menu 画面に戻ります。

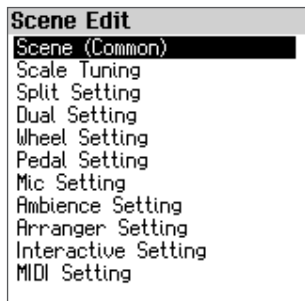
# シーンを編集する (Scene Edit)

## 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

## 2. [Λ] [V] ボタンで「Scene Edit」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Scene Edit 画面が表示されます。



## 3. [Λ] [V] ボタンでエディットしたい項目を選び、[Enter] ボタンを押します。

### Scene Common

→ 「全体を設定する (Scene (Common))」 (P.62)

### Scale Tuning

→ 「調律法を変える (Scale Tuning)」 (P.63)

### Split Setting

→ 「スプリットを設定する (Split Setting)」 (P.17)

### Dual Setting

→ 「デュアルを設定する (Dual Setting)」 (P.18)

### Wheel Setting

→ 「ホイールに機能を割り当てる (Wheel Setting)」 (P.64)

### Pedal Setting

→ 「ペダルに機能を割り当てる (Pedal Setting)」 (P.65)

### Mic Setting

→ 「マイク・エフェクトを設定する (Mic Setting)」 (P.46)

### Ambience Setting

→ 「アンビエンスを設定する (Ambience Setting)」 (P.28)

### Arranger Setting

→ 「自動伴奏を設定する (Arranger Setting)」 (P.37)

### Interactive Setting

→ 「インタラクティブ機能を設定する (Interactive Setting)」 (P.38)

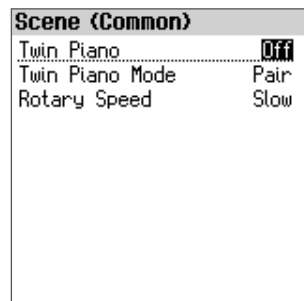
### MIDI Setting

→ 「MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI Setting)」 (P.66)

## 全体を設定する (Scene (Common))

## 1. Scene Edit 画面で [Λ] [V] ボタンを使って「Scene (Common)」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Scene (Common) 画面が表示されます。



## 2. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Twin Piano	OFF, ON	「ON」にすると、鍵盤を左右に分けて、2人が同時に同じ音域を演奏することができます (ツインピアノ)。1人がお手本を弾き、もう1人がお手本を見ながら練習するといった使いかたができます。
Twin Piano Mode	Pair	ツインピアノで演奏するときの鳴りかたを選びます。右側の鍵盤になるほど右、左側の鍵盤になるほど左側から音が聞こえます。
	Individual	右側領域の鍵盤の音は右から、左側領域の鍵盤の音は左から鳴ります。
Rotary Speed	Slow, Fast	ロータリー効果のうねりの速さを設定します。

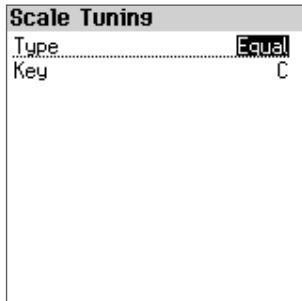
## 3. 変更した設定を保存するときは、ライト操作をします。

→ 「シーンを保存する (Scene Write)」 (P.27)

## 調律法を変える (Scale Tuning)

1. Scene Edit 画面で [Λ] [V] ボタンを使って「Scale Tuning」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Scale Tuning 画面が表示されます。



2. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Type	Equal (平均律)	オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。現在のピアノで最も一般的な調律法です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	Just Major	主要三和音が濁りのない調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きを持ちます。
	Just Minor	純正調は長調と短調で調律が異なります。
	Pythagorean	哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、シンプルな旋律の曲に向きます。
	Kirnberger I	純正調と同様に主要三和音が純正な調律です。この調律法に適した調で書かれた曲を演奏すると美しい響きとなります (キルンベルガー第一法)。
	Kirnberger II	キルンベルガー第一法を修正して、使用できる調の制限を少なくした調律法です (キルンベルガー第二法)。
	Kirnberger III	中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります (キルンベルガー第三法)。
	Meantone	長 3 度を純正に取り、5 度を純正よりわずかに狭めた調律法です。純正調では大全音と小全音の 2 種類の全音があるのに対し、この調律では 1 種類の全音 (中全音) のみになります。限定された調の中で転調できます。
	Werckmeister	8 つの純正 5 度と 4 つの狭い 5 度からなる調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります (バルクマイスター第一技法第三番)。
	Arabic	アラビア音楽に適した調律です。

パラメーター	設定値	説明
Key	C ~ B	平均律以外の調律法で演奏するときに、演奏する曲の調に合わせて主音 (長調ならド、短調ならラにあたる音) を選びます。平均律を選んでいる場合は、主音を選ぶ必要はありません。

3. 変更した設定を保存するときは、ライト操作をします。

→ 「シーンを保存する (Scene Write)」 (P.27)

### メモ

エディットしたあとに別のシーンを選んだり、電源を切ったりすると、変更した設定は消えてしまいます。大事なデータは保存しましょう。

## ホイールに機能を割り当てる (Wheel Setting)

Wheel1/2 に機能を割り当ててコントロールすることができます。

1. Scene Edit 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Wheel Setting] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Wheel Setting 画面が表示されます。

Wheel Settings	
Wheel Mode	Pitch Bend/Mod.
Wheel LED	Arranger Beat
Bend Range	2
Wheel1	
Function	Activity Level
Part	Right & Left
Wheel2	
Function	Accomp Part Vol
Part	Right & Left

2. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Wheel Mode	Pitch Bend/Mod.	Wheel1 でピッチ・ベンド、Wheel2 でモジュレーションをコントロールします。
	Assignable	ホイールごとに設定した機能をコントロールします。
Wheel LED	OFF	Wheel LED は常に消灯します。
	ON	Wheel LED は常に点灯します。
Wheel LED	Arranger Beat	自動伴奏が動作しているときは、自動伴奏の拍に合わせて点滅します。自動伴奏が動作していないときは消灯します。
	Bend Range	0 ~ 24 ※ [Wheel Mode] が [Bend/Mod Mode] のときに有効です。 ※ [Wheel Mode] が [Assignable] で、[Wheel1/2 Function] に [Pitch Bend]、[Bend Up]、[Bend Down] を選んだときに有効です。
Wheel1 Function	OFF	機能設定なし
	Pitch Bend (*1)	ピッチ・ベンドをコントロールします。
	Modulation (*2)	モジュレーション・デプスをコントロールします。
	Layer (*2)	デュアルのとき、レイヤーの音量をコントロールします。
	Bass Inversion (*4)	Bass Inversion のオン/オフを切り替えます。
	Arranger Hold (*4)	Arranger Hold のオン/オフを切り替えます。
	Activity Level (*3)	Activity Level を切り替えます。
	Rotary Speed (*5)	ロータリー・スピードを切り替えます。
Wheel1 Part	Right & Left	アッパー・パートとローワー・パート
	Right	アッパー・パートのみ
	Left	ローワー・パートのみ

パラメーター	設定値	説明
Wheel2 Function	OFF	機能設定なし
	Bend Up	ピッチ・ベンド・アップをコントロールします。
	Bend Down	ピッチ・ベンド・ダウンをコントロールします。
	Modulation	モジュレーション・デプスをコントロールします。
	Layer	デュアルのとき、レイヤーの音量をコントロールします。
	Expression	エクスプレッションをコントロールします。
	Bass Inversion	Bass Inversion のオン/オフを切り替えます。
	Arranger Hold	Arranger Hold のオン/オフを切り替えます。
	Activity Level	Activity Level を切り替えます。
	Drums Part Vol	ドラム・パート・ボリュームをコントロールします。
	Bass Part Vol	ベース・パート・ボリュームをコントロールします。
	Accomp Part Vol	伴奏パート・ボリュームをコントロールします。
Wheel2 Part	Rotary Speed	ロータリー・スピードを切り替えます。
	Mic FX Formant	マイク FX フォルマントをコントロールします。
	Right & Left	アッパー・パートとローワー・パート
Wheel2 Part	Right	アッパー・パートのみ
	Left	ローワー・パートのみ

- \*1 ベンド・アップで+方向へ連続変化、ベンド・ダウンで-方向へ連続変化します。
- \*2 ベンド・アップで+方向へ連続変化、ベンド・ダウンでも+方向へ連続変化します。
- \*3 ベンド・アップをINC、ベンド・ダウンをDECとしてトリガーを与えます。パネでセンターに戻るときには何も起こりません。
- \*4 センターから上方向に動かすとONになります。センターから下方向に動かすとOFFになります。パネでセンターに戻るときには何も起こりません。
- \*5 上方向、下方向、どちらに動かしても、ロータリー効果の速い/遅いが交互に設定されます。パネでセンターに戻るときには何も起こりません。

3. 変更した設定を保存するときは、ライト操作をします。

→ [シーンを保存する (Scene Write)] (P.27)

### メモ

エディットしたあとに別のシーンを選んだり、電源を切ったりすると、変更した設定は消えてしまいます。大事なデータは保存しましょう。

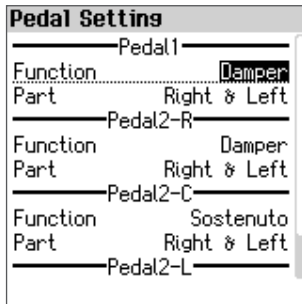


## ペダルに機能を割り当てる (Pedal Setting)

Pedal1/2 に機能を割り当ててコントロールすることができます。

1. Scene Edit 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Pedal Setting] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Pedal Setting 画面が表示されます。



2. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Pedal1 Function	Pedal1	に機能を割り当てます。
	Damper (*1)	ダンパー・ペダル
	Sostenuto (*1)	ソステヌート・ペダル
	Soft (*1)	ソフト・ペダル
	Layer	デュアルのとき、レイヤーの音量をコントロールします。
	Expression (*1)	エクスプレッションをコントロールします。
	Master Expression	本体全体の音量をコントロールします。
	Mic FX Sw	[Mic FX] ボタンと同じ動作をします。
	Bass Inversion1	Bass Inversion のオン/オフを切り替えます。
	Bass Inversion2	ペダルを踏んでいるときのみ Bass Inversion をオンにします。
	Arranger Hold	Arranger Hold のオン/オフを切り替えます。
	Variation 1/2	Variation 1/2 を切り替えます。
	Variation 1	[Variation 1] ボタンと同じ動作をします。
	Variation 2	[Variation 2] ボタンと同じ動作をします。
	Intro/Ending	[Intro/Ending] ボタンと同じ動作をします。
	Start/Stop	スタイルのスタート/ストップをコントロールします。
	Play/Stop	曲の再生/停止をコントロールします。
	Rotary Speed	ロータリー・スピードを切り替えます。
	Modulation (*1, *2)	モジュレーション・デプスをコントロールします。
Pedal1 Function	Bend Up (*1, *2)	ピッチ・バンド・アップをコントロールします。
	Bend Down (*1, *2)	ピッチ・バンド・ダウンをコントロールします。

パラメーター	設定値	説明
Pedal1 Part	Pedal1	が効くパートを設定します。
	Right & Left	アッパー・パートとローワー・パート
	Right	アッパー・パートのみ
	Left	ローワー・パートのみ
Pedal2-R Function	Pedal2-R	に機能を割り当てます。(Pedal1 Function パラメーターと同じです)
Pedal2-R Part	Pedal2-R	が効くパートを設定します。(Pedal1 Part パラメーターと同じです)
Pedal2-C Function	Pedal2-C	に機能を割り当てます。(Pedal1 Part パラメーターと同じです)
Pedal2-C Part	Pedal2-C	が効くパートを設定します。(Pedal1 Part パラメーターと同じです)
Pedal2-L Function	Pedal2-L	に機能を割り当てます。(Pedal1 Part パラメーターと同じです)
Pedal2-L Part	Pedal2-L	が効くパートを設定します。(Pedal1 Part パラメーターと同じです)

\* 1 Pedal Part 設定している音色に効果がかかります。

\* 2 音色によっては、設定しても効果がかからないことがあります。

3. 変更した設定を保存するときは、ライト操作をします。

→ 「シーンを保存する (Scene Write)」 (P.27)

### メモ

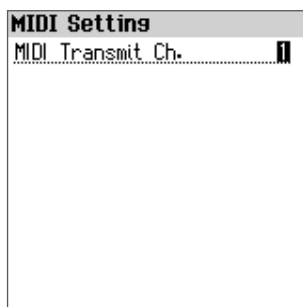
エディットしたあとに別のシーンを選んだり、電源を切ったりすると、変更した設定は消えてしまいます。大事なデータは保存しましょう。

## MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI Setting)

MIDI 送信チャンネルを設置します。

1. Scene Edit 画面で [Λ] [V] ボタンを使って「MIDI Setting」を選び、[Enter] ボタンを押します。

MIDI Setting 画面が表示されます。



2. [Dec] [Inc] ボタンで、設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
MIDI Transmit Ch.	OFF、1 ~ 16	MIDI 送信チャンネルを設置します。

3. 変更した設定を保存するときは、ライト操作をします。

→ 「シーンを保存する (Scene Write)」 (P.27)

### メモ

エディットしたあとに別のシーンを選んだり、電源を切ったりすると、変更した設定は消えてしまいます。大事なデータは保存しましょう。

# システム設定をする (System)

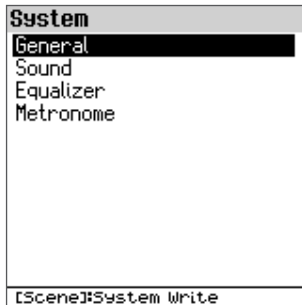
システム・パラメーターを設定します。

## 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

## 2. [Λ] [V] ボタンで「System」を選び、[Enter] ボタンを押します。

System 画面が表示されます。



## 3. [Λ] [V] ボタンで項目を選び、[Enter] ボタンを押します。

### General

→ 「全体を設定する (General)」 (P.67)

### Sound

→ 「音の鳴りかたに関する設定をする (Sound)」 (P.68)

### Equalizer

→ 「音質を調節する (Equalizer)」 (P.68)

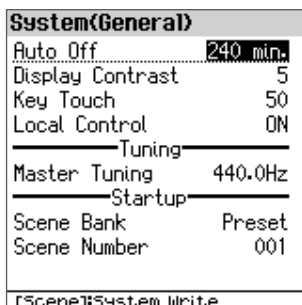
### Metronome

→ 「メトロノームの設定を変える (Metronome)」 (P.24)

## 全体を設定する (General)

### 1. System 画面で [Λ] [V] ボタンを使って「General」を選び、[Enter] ボタンを押します。

System (General) 画面が表示されます。



### 2. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Auto Off	OFF、10、30、240(min.)	オート・オフの設定をします。 本機は演奏や操作をやめてから 240 分経過すると、自動的に電源が切れます (工場出荷時の設定)。 自動で電源を切る必要がない場合は、「Auto Off」を「Off」に設定します。 ※ 設定を変更すると、自動保存されます。
Display Contrast	1 ~ 10	本機のディスプレイの明るさを調節します。
Key Touch	Fix、1 ~ 100	演奏者の好みに合わせて、鍵盤を弾いたときのタッチ感を調節します。
Local Control	OFF	MIDI シーケンサーを接続したときには、この項目で、ローカル・オフに設定します。 通常のシーケンサーはスルー機能がオンに設定されているため、鍵盤を弾いた音が 2 重に重なって聴こえたり、途切れたりします。これを防ぐために鍵盤と内部の音源を切り離すことを、「ローカル・オフ」といいます。 ※ この設定は保存されません。
	ON	ローカルコントロールがオンになります。 鍵盤が内部の音源とつながっている状態です。
Tuning		
Master Tuning	415.3Hz ~ 440.0Hz ~ 466.2Hz	基準ピッチを設定します。 他の楽器とアンサンブルするときなど、本機の基準ピッチを他の楽器に合わせることができます。 基準ピッチとは、一般的に、中央 A (A4) の鍵盤を弾いたときの音の高さのことをいいます。他の楽器とアンサンブル演奏をするときには、きれいなアンサンブルにするためにお互いの基準ピッチを合わせます。他の楽器と基準ピッチを合わせることを「チューニング」といいます。
Startup		
Scene Bank	Preset	
	001 ~ 107	起動時に選ばれるシーンのバンクと
Scene Number	User	
	001 ~ 256	ナンバーを設定します。

## 音の鳴りかたに関する設定をする (Sound)

### 1. System 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Sound] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Sound 画面が表示されます。

Sound	
Headphones 3D Ambience	OFF
Hammer Response	1
Speaker Switch	ON
Speaker Auto Mute	ON
Speaker EQ	Stand

[Scene]:System Write

### 2. [Λ] [V] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Headphones 3D Ambience	OFF、ON	ヘッドホン使用時でも、ピアノ本体から音が聞こえるような効果をかけます。 ※ アンビエンスの種類が [Concert Hall] で、[スーパーナチュラル・ピアノ音源] の音色を選んでいるときに効果がかけられます。 ※ オーディオ・ファイル (ソング) に効果はかかりません。
Hammer Response	OFF、1 ~ 10	鍵盤を弾いてからピアノ音が鳴るまでの時間を調節します。値が大きくなるほど遅くなります。
Speaker Switch	OFF	内蔵スピーカーのオン/オフを切り替えます。 ※ トップ画面の下部の表示でスピーカー・スイッチの状態を確認できます。 ※ システム・パラメーターとして保存されます。
	ON	内蔵スピーカーはオンになり本体から音が出ます。 ※ [Speaker Auto Mute] の設定がオンのときは、ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーは自動的にミュート (消音) されます。
Speaker Auto Mute	OFF	ヘッドホンが接続されたときに、内蔵スピーカーを自動的にミュート (消音) するかどうかを設定します。 ※ トップ画面のフッター表示部分でスピーカー・スイッチの状態を確認できます。 ※ システム・パラメーターとして保存されます。
	ON	ヘッドホンが接続されていても、スピーカーはミュートされず、ヘッドホンと内蔵スピーカーの両方から音が出ます。 ※ ヘッドホンから出力される音の音質は [Speaker Auto Mute] がオンのときとは変わります。 ※ [Speaker Switch] がオフのとき、[Speaker Switch] の設定が優先されスピーカーからは音は鳴りません。

パラメーター	設定値	説明
Speaker EQ		設置方法に合わせて最適な音質になるようスピーカーEQ (イコライザー) を設定します。 ※ システム・パラメーターとして保存されます。
	Stand	スタンドに置いて弾くときに、最適な音質になるような設定です。
	Desk	テーブルに置いて弾くときに、最適な音質になるような設定です。

## 音質を調節する (Equalizer)

Low (低音域)、Mid (中音域)、High (高音域) のそれぞれで、サウンドを強調したり抑えたりすることができます。

低音や高音だけを増したり減らしたりして、音質を調節できます。

### 1. System 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Equalizer] を選び、[Enter] ボタンを押します。

Equalizer 画面が表示されます。

Equalizer			
Switch	ON		
	100	1k	10k
	Low	Mid	High
Gain	0	0	0
Freq	160	1000	4000
Q	0.5		

[Scene]:System Write

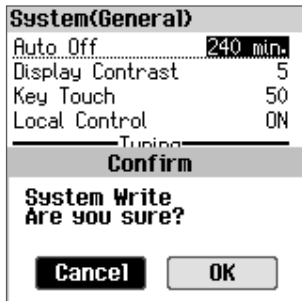
### 2. [Λ] [V] [<] [>] ボタンでパラメーターを選び、[Dec] [Inc] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Switch	OFF、ON	EQ を、使う (ON) か使わない (OFF) かを設定します。
Low Gain	-12 ~ +12 [dB]	低域の増幅/減衰量を調節します。
Low Freq	20 ~ 400 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid Gain	-12 ~ +12 [dB]	中域の増幅/減衰量を調節します。
Mid Freq	200 ~ 8000 [Hz]	中域の基準周波数を設定します。
Mid Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Gain	-12 ~ +12 [dB]	高域の増幅/減衰量を調節します。
High Freq	2000 ~ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。

## システム設定を保存する (System Write)

**1. System Edit 画面で、[Scene] ボタンを押します。**

確認画面が表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

**2. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。**

保存が終わると「Completed!」表示後、元の画面に戻ります。

# 便利な機能 (Utility)

## 1. [Menu] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

## 2. [Λ] [V] ボタンで「Utility」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Utility 画面が表示されます。



## 3. [Λ] [V] ボタンで項目を選び、[Enter] ボタンを押します。

### Factory Reset

→ 「工場出荷時の設定に戻す (Factory Reset)」 (P.70)

### Backup

→ 「本体の設定を USB メモリーにバックアップする (Backup)」 (P.71)

### Restore

→ 「バックアップ・ファイルを本体に読み込む (Restore)」 (P.71)

### Import/Export

→ 「インポート/エクスポートする (Import/Export)」 (P.72)

### Format USB Memory

→ 「USB メモリーを初期化する (Format USB Memory)」 (P.76)

## 工場出荷時の設定に戻す (Factory Reset)

工場出荷時の設定に戻します。この操作を実行すると、保存した設定内容（作成したデータ）はすべて失われ工場出荷時の状態に戻ります。

### ファクトリー・リセットの対象となる設定やデータ

- システム・パラメーター
- Piano Setting
- フェイバリット・トーン
- User Scene (\*1)
- User Tone (\*1) : インポートした Sound Pack の Tone
- User Chord Pattern (\*1)
- Internal Memory 上の Song Data (\*1)
- ユーザー・ライセンス (\*2)
- インストールした Wave Expansion (\*2)
- インポートした Style Pack (\*2)

\*1 「Reset User Data」にチェックを付けたとき対象になります。

\*2 「Remove License」にチェックを付けたとき対象になります。

### 注意

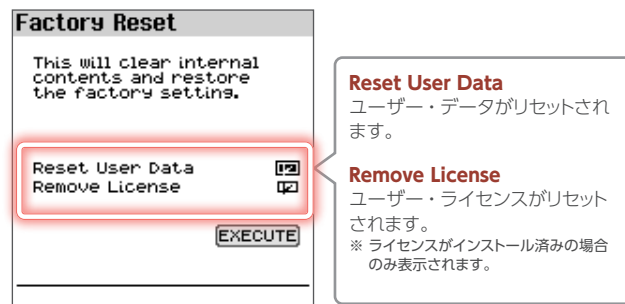
- 対象の設定やデータを残したいときはチェックをはずしてください。
- 現在の設定があとで必要なときは、工場出荷時の状態に戻す前に、必ずバックアップ機能 (P.71) を使用して現在の設定を保存しておいてください。

### メモ

ユーザー・ライセンスについて詳しくは、「Roland Cloud 追加コンテンツご利用ガイド」(PDF) をご覧ください。

## 1. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って「Factory Reset」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Factory Reset 画面が表示されます。



## 2. [Λ] [V] ボタンで「EXECUTE」を選び、[Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

## 3. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

「Completed!」表示のあと、「Power Off. Then On.」と表示されます。

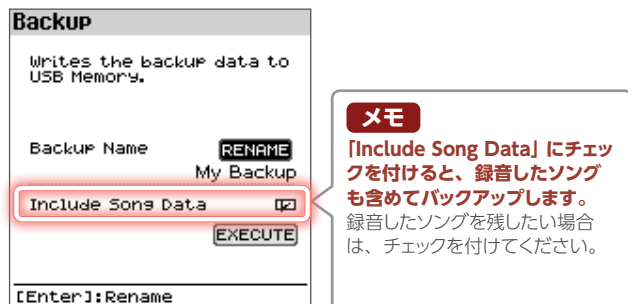
## 4. FP-E50 の電源を入れ直します。

## 本体の設定を USB メモリーにバックアップする (Backup)

本体の設定を USB メモリーにバックアップします。

1. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って「Backup」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Backup 画面が表示されます。



### メモ

「RENAME」を選び、[Enter] ボタンを押すと、バックアップ・ファイル名を変えることができます。

2. ソング・データも一緒にバックアップする場合は、「Include Song Data」にチェックを付けます。
  3. [Λ] [V] ボタンで「EXECUTE」を選び、[Enter] ボタンを押します。
- 確認画面が表示されます。  
中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。
4. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

バックアップが終了すると「Completed!」と表示され、Utility 画面に戻ります。

### 注意

インストールした Wave Expansion のデータ、インポートした Style Pack のデータはバックアップされません。

## バックアップ・ファイルを本体に読み込む (Restore)

バックアップ・ファイルを本体に読み込みます。

### 注意

この操作を実行すると、保存した設定内容（作成したデータ）はすべて書き替えられます。

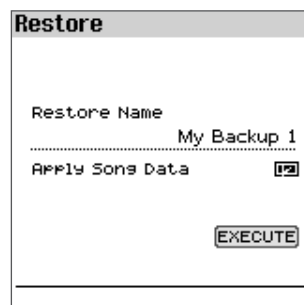
本体に大切なデータが保存されているときは、リストアをする前に、別の名前を付けて USB メモリーにバックアップしてください。

1. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って「Restore」を選び、[Enter] ボタンを押します。

Restore 画面にバックアップ・ファイルが表示されます。



2. [Λ] [V] ボタンでバックアップ・ファイルを選び、[Enter] ボタンを押します。



3. ソング・データも一緒に読み込む場合は、「Apply Song Data」にチェックを付けます。
  4. [Λ] [V] ボタンで「EXECUTE」を選び、[Enter] ボタンを押します。
- 確認画面が表示されます。  
中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。
5. [<] [>] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。
- 「Completed!」表示のあと、「Power Off, Then On.」と表示されます。
6. FP-E50 の電源を入れ直します。



## インポート／エクスポートする (Import/Export)

### シーンをインポートする (Import Scene)

FP-E50 でエクスポートしたシーンを、追加シーンとして FP-E50 にインポートすることができます。

#### USB メモリーにシーンを保存する

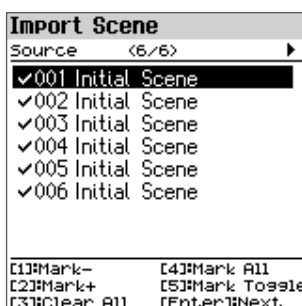
1. FP-E50 のエクスポート機能を使って、FP-E50 にインポートするシーンの SVD ファイルを用意します。
2. USB メモリーをパソコンに接続します。  
※USB メモリーを初めて使うときは、FP-E50 でフォーマットしてください。  
→ 「USB メモリーを初期化する (Format USB Memory)」 (P.76)
3. USB メモリーの ROLAND/SOUND フォルダーに、SVD ファイルを保存します。
4. パソコンから USB メモリーを取りはずして、FP-E50 に接続します。

#### FP-E50 にシーンをインポートする

1. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って「Import/Export」を選び、[Enter] ボタンを押します。
2. [Λ] [V] ボタンで「Import Scene」を選び、[Enter] ボタンを押します。



3. [Λ] [V] ボタンでインポートしたいシーンが入っているファイルを選び、[Enter] ボタンを押します。
4. [Λ] [V] ボタンでインポートしたいシーン (Source) を選び、[1] ([Piano]) ~ [5] ([Other]) ボタンを使ってチェック・マークを付けます。

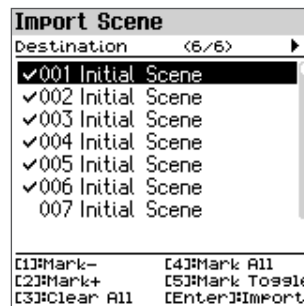


### マークの付けかた

操作子	説明
[1] Mark-	マークをはずしてカーソルを 1 つ進めます。
[2] Mark+	マークを付けてカーソルを 1 つ進めます。
[3] Clear All	すべてのマークをはずす。
[4] Mark All	すべてにマークを付ける。
[5] Mark Toggle	マークを付ける／はずすを切り替えます。

シーン数は、画面上で確認することができます (インポート元としてチェックを付けたシーン数/インポート元ファイルに含まれる全シーン数)。

5. [Enter] ボタンを押します。
6. [Λ] [V] ボタンでインポート先のシーン (Destination) を選び、[Enter] ボタンを押してチェック・マークを付けます。



#### 注意

- インポート先に選んだシーンは、上書き保存されます。ご注意ください。
- インポート元よりインポート先のシーン数が少ないと、選んだシーンはすべてインポートされません。
- ※シーン数は、画面上で確認することができます (インポート先としてチェックを付けたシーン数/インポート先の全 USER シーン数)。
- ※「Initial Scene」という名前のシーンがある場合は、インポート先のシーンとして自動的に選ばれます (自動的にチェック・マークが付きます)。
- ※エディットしたシーンであっても、シーン名が「Initial Scene」になっていると、インポート先のシーンとして自動的に選ばれます。
- シーンを残しておきたいときは、チェック・マークをはずしてください。

7. [Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。  
中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

8. [←] [→] ボタンで「OK」を選び、[Enter] ボタンを押します。

インポートが完了すると、「Completed!」と表示されます。

#### 注意

「Executing…」などと表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。



## シーンをエクスポートする (Export Scene)

シーン・データを SVD ファイルにエクスポートすることができます。

1. USB メモリーを接続します。
2. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Import/Export] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. [Λ] [V] ボタンで [Export Scene] を選び、[Enter] ボタンを押します。

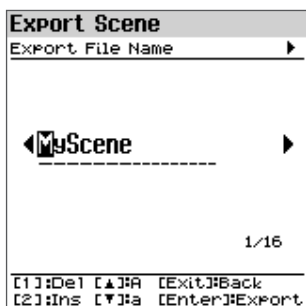


4. [Λ] [V] ボタンでエクスポート元のシーンを選び、[1] ([Piano]) ~ [5] ([Other]) ボタンを使ってチェック・マークを付けます。

### マークの付けかた

操作子	説明
[1] Mark-	マークをはずしてカーソルを 1 つ進めます。
[2] Mark+	マークを付けてカーソルを 1 つ進めます。
[3] Clear All	すべてのマークをはずす。
[4] Mark All	すべてにマークを付ける。
[5] Mark Toggle	マークを付ける／はずすを切り替えます。

5. [Enter] ボタンを押します。
6. エクスポートするファイル名を確認／変更します。



ファイル名を変更したい場合は、以下の操作でファイル名を変更します。

→ 「名前の変更をする (Rename 画面)」 (P.15)

7. [Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

### メモ

同じファイル名がすでにある場合には「Already Exist. Overwrite?」と上書きしてよいか確認するダイアログが現れます。

8. [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。

エクスポートが完了すると、「Completed!」と表示されます。

### 注意

「Executing…」などと表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

## ピアノ・セッティングをインポートする (Import Piano Setup)

エクスポートしたピアノ・セッティングをインポートすることができます。

### USB メモリーにピアノ・セッティングを保存する

1. FP-E50 のエクスポート機能を使って、FP-E50 にインポートするピアノ・セッティングの PSF ファイルを用意します。
2. USB メモリーをパソコンに接続します。  
※USBメモリーを初めて使うときは、FP-E50 でフォーマットしてください。  
→ 「USBメモリーを初期化する (Format USB Memory)」 (P.76)
3. USBメモリーのROLANDフォルダーに、PSFファイルを保存します。
4. パソコンからUSBメモリーを取りはずして、FP-E50 に接続します。

### FP-E50 にシーンをインポートする

1. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Import/Export] を選び、[Enter] ボタンを押します。
2. [Λ] [V] ボタンで [Import Piano Setup] を選び、[Enter] ボタンを押します。



3. [Λ] [V] ボタンでインポートしたい PSF ファイルを選び、[Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。  
中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

4. [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。

インポートが完了すると、「Completed!」と表示されます。

#### 注意

「Executing…」などと表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーを抜いたりしないでください。

## ピアノ・セッティングをエクスポートする (Export Piano Setup)

ピアノ・セッティングをファイルにエクスポートすることができます。

1. USBメモリーを接続します。
2. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Import/Export] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. [Λ] [V] ボタンで [Export Piano Setup] を選び、[Enter] ボタンを押します。
4. エクスポートするファイル名を確認/変更します。



ファイル名を変更したい場合は、以下の操作でファイル名を変更します。

→ 「名前の変更をする (Rename 画面)」 (P.15)

5. [Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。  
中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

#### メモ

同じファイル名がすでにある場合には「Already Exist. Overwrite?」と上書きしてよいか確認するダイアログが現れます。

6. [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。

エクスポートが完了すると、「Completed!」と表示されます。

#### 注意

「Executing…」などと表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーを抜いたりしないでください。

## コード・パターンをインポートする (Import Chord Pattern)

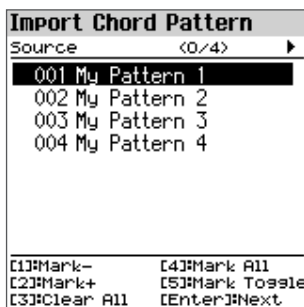
エクスポートしたコード・パターンをインポートすることができます。

### USB メモリーにコード・パターンを保存する

1. FP-E50 のエクスポート機能を使って、FP-E50 にインポートするコード・パターンの CSV ファイルを用意します。
2. USB メモリーをパソコンに接続します。  
※USBメモリーを初めて使うときは、FP-E50 でフォーマットしてください。  
→ 「USBメモリーを初期化する (Format USB Memory)」 (P.76)
3. USBメモリーの ROLAND/CHORD\_PTN フォルダに、CSV ファイルを保存します。
4. パソコンから USBメモリーを取りはずして、FP-E50 に接続します。

### FP-E50 にコード・パターンをインポートする

1. Utility 画面で [Λ] [v] ボタンを使って [Import/Export] を選び、[Enter] ボタンを押します。
  2. [Λ] [v] ボタンで [Import Chord Pattern] を選び、[Enter] ボタンを押します。
- 注意**  
USBメモリーにユーザー・コード・パターンがないときは、画面に [EMPTY] と表示されインポートできません。
3. [Λ] [v] ボタンでインポートしたいコード・パターンを選び、[1] ([Piano]) ~ [5] ([Other]) ボタンを使ってチェック・マークを付けます。



## マークの付けかた

操作子	説明
[1] Mark-	マークをはずしてカーソルを1つ進めます。
[2] Mark+	マークを付けてカーソルを1つ進めます。
[3] Clear All	すべてのマークをはずす。
[4] Mark All	すべてにマークを付ける。
[5] Mark Toggle	マークを付ける/はずすを切り替えます。

コード・パターン数は、画面上で確認することができます (インポート元としてチェックを付けたコード・パターン数/全コード・パターン数)。

4. [Enter] ボタンを押します。  
Destination 画面が表示されます。  
空のユーザー・コード・パターン (グレー表示) があれば、自動的にマークが付けられます。マークを変更することもできます。
5. [Λ] [v] ボタンでインポート先を選び、[1] ([Piano]) ~ [5] ([Other]) ボタンを使ってチェック・マークを付けます。
6. [Enter] ボタンを押します。  
確認画面が表示されます。  
中止するときは、[Cancel] を選び [Enter] ボタンを押します。

### メモ

本体内のユーザー・コード・パターンにすでにデータが存在し、インポートしようとしているデータと1つでも番号が一致している場合は、Overwrite (上書き保存) をするかどうかの確認画面が表示されます。

7. [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。  
インポートが完了すると、[Completed!] と表示されます。

### メモ

インポートしたデータは、本体内の User Chord Pattern に保存されます。

### 注意

「Executing…」などと表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーを抜いたりしないでください。

## コード・パターンをエクスポートする (Export Chord Pattern)

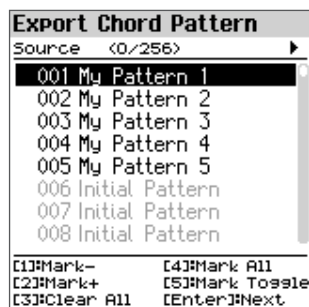
コード・パターンをファイルにエクスポートすることができます。

1. USB メモリーを接続します。
2. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Import/Export] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. [Λ] [V] ボタンで [Export Chord Pattern] を選び、[Enter] ボタンを押します。

### 注意

本体内にユーザー・コード・パターンがないときは、「Initial Pattern」とグレー表示され、エクスポートできません。

4. [Λ] [V] ボタンでエクスポートしたいコード・パターンを選び、[1] ([Piano]) ~ [5] ([Other]) ボタンを使ってチェック・マークを付けます。



5. [Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

6. [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。

エクスポートが完了すると、「Completed!」と表示されます。

### メモ

エクスポートしたデータは、USB メモリーの ROLAND/ CHORD\_PTN/ に保存されます。

### 注意

「Executing…」などと表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

## USB メモリーを初期化する (Format USB Memory)

USB メモリーを初期化します。

1. USB Memory 端子に USB メモリーを接続します。
2. Utility 画面で [Λ] [V] ボタンを使って [Format USB Memory] を選び、[Enter] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選び [Enter] ボタンを押します。

3. [<] [>] ボタンで [OK] を選び、[Enter] ボタンを押します。

初期化が終了すると「Completed!」と表示され、Utility 画面に戻ります。

# プログラムのバージョン情報を表示する (Information)

システム・プログラムのバージョン情報が表示されます。

**1. [Menu] ボタンを押します。**

Menu 画面が表示されます。

**2. [A] [v] ボタンで [Information] を選び、[Enter] ボタンを押します。**

バージョン情報が表示されます。



**Version: 1.10 (B0090)**

## その他

---

ショートカット一覧 ..... 79

主な仕様 ..... 80

# ショートカット一覧

ショートカット	動作
[Wheel Mode] 長押し	ホイール設定画面が表示されます。
[Ambience] 長押し	アンビエンス設定画面が表示されます。
[Split/Dual] 長押し	Split のときは Split Setting 画面が表示されます。 Dual のときは Dual Setting 画面が表示されます。 ※ Split や Dual でない場合、ショートカット機能は効きません。
[Transpose] 長押し	ボタンを押している間、キーボード・トランスポーズの設定画面が表示されます。
[Favorite] 長押し	Favorite の登録画面が表示されます。
[Scene] 長押し	シーンを保存します。
[Accomp On] 長押し	自動伴奏の設定画面が表示されます。
[Interactive On] 長押し	インタラクティブ設定画面が表示されます。
Chord Sequencer [Select] 長押し	Chord Pattern View 画面を表示します。
Chord Sequencer [On] 長押し	コード・シーケンサーのメニューを表示します。
[Menu] 長押し	Bluetooth 接続のペアリングを開始します。
[Metronome] 長押し	メトロノームの設定画面を表示します。
[Tempo] 長押し	タップ・テンポ画面が表示されます。 [Enter] ボタンを押すタイミングで、テンポを設定することができます (タップ・テンポ)。設定したいテンポの 4 分音符のタイミングで 3 回以上押ししてください。
[Song] 長押し	デモ機能が始まります。
[▶/■] 長押し	曲の先頭に戻ります。
[Mic FX] 長押し	マイク・エフェクトの設定画面を表示します。
トップ画面で Tone にカーソルがあるときに [Enter]	Tone List が表示されます。
トップ画面で Style にカーソルがあるときに [Enter]	Style List が表示されます。

# 主な仕様

音源	スーパーナチュラル・ピアノ音源 ZEN-Core
鍵盤	PHA-4 スタンダード鍵盤：エスケープメント付、象牙調（88 鍵）
Bluetooth 機能	Bluetooth 標準規格 Ver 4.2 対応プロファイル：A2DP（オーディオ）、GATT（MIDI over Bluetooth Low Energy） 対応コーデック：SBC（SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応）
電源	AC アダプター
消費電力	11W（付属 AC アダプター使用時） ボリュームを中央にしてピアノ演奏したときの消費電力の目安：6W 電源投入後、音を鳴らしていない状態の消費電力：5W
外形寸法	譜面立てをはずしたとき 1,300（幅）× 322（奥行）× 174（高さ）mm 専用キーボード・スタンド KSFE50、譜面立てを含む 1,300（幅）× 357（奥行）× 953（高さ）mm
質量	17.1kg（譜面立てを含む） 27.3kg（専用スタンド KSFE50、KPD-70、譜面立てを含む）
付属品	クイック・スタート 「安全上のご注意」チラシ AC アダプター 電源コード 譜面立て ダンパー・ペダル（DP-2） 保証書
別売品	専用キーボード・スタンド：KSFE50 専用ペダル・ボード：KPD-70 キーボード・スタンド：KS-10Z、KS-12、KS-20X ダンパー・ペダル：DP シリーズ エクスペディション・ペダル：EV-5

※本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。



## 内蔵曲の楽譜

---

# The Water Is Wide

広い河の岸辺

Scene: 020 City Pop

Scottish folk song

Intro Short

♩ = 105

VAR 2 AL1

*mf*

B<sup>b</sup>M7 FM9/A

B<sup>b</sup>M7 C7sus4 C7

FIL-D *8va*

*f*

VAR 1 AL2

Gm9

Gm7/C

FM9/A

E<sup>b</sup>7

D7

VAR 1 AL3

Bm7<sup>b5</sup>

*mf*

FIL-U

VAR 2 AL1

B<sup>b</sup>mM7

C7sus4

C7

B<sup>b</sup>M9

E<sup>b</sup>9

B<sup>b</sup>mM7 C7sus4 C7 B<sup>b</sup>M9 E<sup>b</sup>9

**FIL-D**

Dm    DmM7/D<sup>b</sup>    Dm7/C    Dm6/B    Gm9    C7sus4

**VAR 2 AL2**

B<sup>b</sup>m9/E<sup>b</sup>

*f*

**FIL-D**

Dm9

**VAR 2 AL3**

B<sup>b</sup>m9/E<sup>b</sup>

**Ending Short**

C7sus4    FM9

*p*

# The Water Is Wide

広い河の岸辺

Scene: 090 Hip Jazz

Scottish folk song

## Intro Short

♩ = 75



## VAR2 AL3

D7sus4



D7sus4

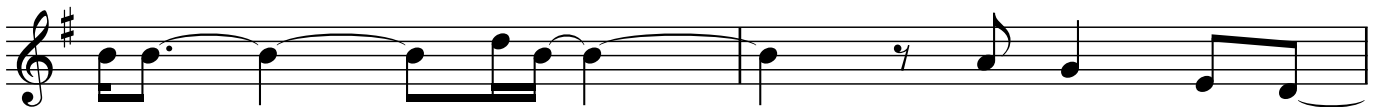
## FIL-D



## VAR1 AL2

G

C/G



G

D/F#

B7



VAR1 AL3

Em7 CM7

Musical notation for VAR1 AL3 in G major. The first measure contains a half note G4, quarter notes A4 and B4, and a half note C5. The second measure contains a quarter rest, a triplet of eighth notes B4, A4, and G4, and a quarter note F#4. The third measure contains a quarter note E4, quarter notes D4 and C4, and a quarter note B3. The fourth measure contains a quarter note A3, quarter notes G3 and F#3, and a quarter note E3. The fifth measure contains a quarter note D3, quarter notes C3 and B2, and a quarter note A2. The sixth measure contains a quarter note G2, quarter notes F#2 and E2, and a quarter note D2.

D7sus4

FIL-U

D7/C

Musical notation for FIL-U in G major. The first measure contains a half note G4, quarter notes A4 and B4, and a half note C5. The second measure contains a quarter note B4, quarter notes A4 and G4, and a quarter note F#4. The third measure contains a quarter note E4, quarter notes D4 and C4, and a quarter note B3. The fourth measure contains a quarter note A3, quarter notes G3 and F#3, and a quarter note E3. The fifth measure contains a quarter note D3, quarter notes C3 and B2, and a quarter note A2. The sixth measure contains a quarter note G2, quarter notes F#2 and E2, and a quarter note D2.

VAR2 AL2

Bm7

Dm7/G

G7

*mf*

Musical notation for VAR2 AL2 in G major. The first measure contains a half note G4, quarter notes A4 and B4, and a half note C5. The second measure contains a quarter note B4, quarter notes A4 and G4, and a quarter note F#4. The third measure contains a quarter note E4, quarter notes D4 and C4, and a quarter note B3. The fourth measure contains a quarter note A3, quarter notes G3 and F#3, and a quarter note E3. The fifth measure contains a quarter note D3, quarter notes C3 and B2, and a quarter note A2. The sixth measure contains a quarter note G2, quarter notes F#2 and E2, and a quarter note D2.

CM7

Am7

C/E

C/D

*mp*

Musical notation for VAR2 AL2 continuation in G major. The first measure contains a half note G4, quarter notes A4 and B4, and a half note C5. The second measure contains a quarter note B4, quarter notes A4 and G4, and a quarter note F#4. The third measure contains a quarter note E4, quarter notes D4 and C4, and a quarter note B3. The fourth measure contains a quarter note A3, quarter notes G3 and F#3, and a quarter note E3. The fifth measure contains a quarter note D3, quarter notes C3 and B2, and a quarter note A2. The sixth measure contains a quarter note G2, quarter notes F#2 and E2, and a quarter note D2.

VAR2 AL3

Bm7

Em7

Am7

D7sus4

*mf*

Musical notation for VAR2 AL3 in G major. The first measure contains a half note G4, quarter notes A4 and B4, and a half note C5. The second measure contains a quarter note B4, quarter notes A4 and G4, and a quarter note F#4. The third measure contains a quarter note E4, quarter notes D4 and C4, and a quarter note B3. The fourth measure contains a quarter note A3, quarter notes G3 and F#3, and a quarter note E3. The fifth measure contains a quarter note D3, quarter notes C3 and B2, and a quarter note A2. The sixth measure contains a quarter note G2, quarter notes F#2 and E2, and a quarter note D2.

Em7

Cm7

*f*

Musical notation for VAR2 AL3 continuation in G major. The first measure contains a half note G4, quarter notes A4 and B4, and a half note C5. The second measure contains a quarter note B4, quarter notes A4 and G4, and a quarter note F#4. The third measure contains a quarter note E4, quarter notes D4 and C4, and a quarter note B3. The fourth measure contains a quarter note A3, quarter notes G3 and F#3, and a quarter note E3. The fifth measure contains a quarter note D3, quarter notes C3 and B2, and a quarter note A2. The sixth measure contains a quarter note G2, quarter notes F#2 and E2, and a quarter note D2.

Ending Short

Am7

D7sus4

GM7

Musical notation for Ending Short in G major. The first measure contains a quarter rest, quarter notes G4 and A4, and a quarter note B4. The second measure contains a quarter note C5, quarter notes B4 and A4, and a quarter note G4. The third measure contains a quarter note F#4, quarter notes E4 and D4, and a quarter note C4. The fourth measure contains a quarter note B3, quarter notes A3 and G3, and a quarter note F#3. The fifth measure contains a quarter note E3, quarter notes D3 and C3, and a quarter note B2. The sixth measure contains a quarter note A2, quarter notes G2 and F#2, and a quarter note E2.

# The Water Is Wide

## 広い河の岸辺

Scene: 088 Soundtrack

Scottish folk song

Intro Short      VAR1 AL1      FIL-U

♩ = 110      Gsus4      *mf*

C      G/B      Am7      C/G

VAR1 AL2

FM7      C/E      Dm7      G7sus4

VAR1 AL3

Em7      Gm7      C9      F      C/E      Dm7      D<sup>#</sup>dim

FIL-U      VAR2 AL3

Em7      A7      Dm7      Dm7/G      C      F/C

*f*

Ending Short

G/C      F/C      Csus4/D<sup>b</sup>      C

*f*

Detailed description: This musical score is for the Scottish folk song 'The Water Is Wide'. It is presented in a single-staff format with a treble clef and a common time signature. The tempo is marked as quarter note = 110. The score is divided into several sections: 'Intro Short' (four measures of whole rests), 'VAR1 AL1' (four measures of whole notes with chords Gsus4, G/B, Am7, and C/G), 'FIL-U' (a dynamic marking of *mf*), 'VAR1 AL2' (four measures of whole notes with chords FM7, C/E, Dm7, and G7sus4), 'VAR1 AL3' (seven measures of whole notes with chords Em7, Gm7, C9, F, C/E, Dm7, and D#dim), 'FIL-U' (a dynamic marking of *f*), 'VAR2 AL3' (seven measures of eighth notes with chords Em7, A7, Dm7, Dm7/G, C, and F/C, including triplets), and 'Ending Short' (four measures of eighth notes with chords G/C, F/C, Csus4/Db, and C, including triplets).